

Tankenmaru
System

SHIMANO

Tankenmaru

CV FISH

取扱説明書

このたびは、シマノ探見丸CV-FISHをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保存してくださいますようお願い申し上げます。

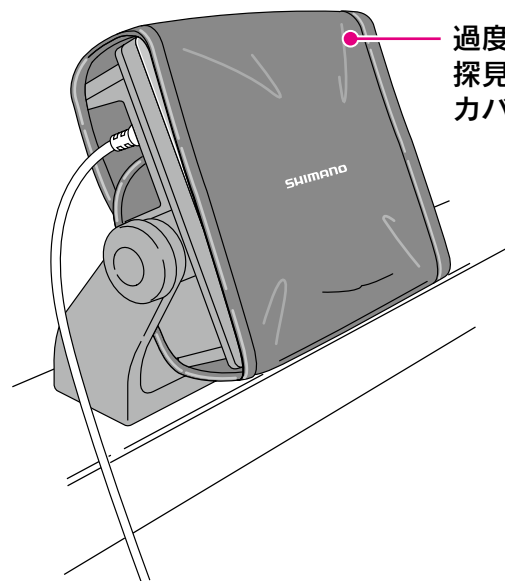
安全にお使いいただくために	2	⑪糸送り	29
電源とコードについて	2	⑫上/底切替	30
探見丸システムについて	4	⑬さそい	31
アキュフィッシュ機能について	6	さそいの学習	33
システムの設置方法	7	⑭さそい幅の指定	36
魚探画面と操作ボタンについて	9	釣りでさそい機能を使用する	37
起動	10	⑮棚停止の設定	39
船釣りの場合、ご乗船される船名の選択	11	⑯オートさそいの設定	40
電動リールと探見丸 CV-FISH のアクセス操作手順	12	釣りでさそい機能を使用する（棚停止の利用）	41
電動リールとの通信設定	13	⑰仕掛軌跡	44
設定画面の操作方法	14	⑱位置補正	46
画面の切換え	15	⑲仕掛回収	48
探見丸 CV-FISH の機能一覧 ～単体の機能～	17	⑳水深並列表示	49
探見丸 CV-FISH の機能一覧 ～電動リール対応機能～	18	㉑ファイト時間	50
簡単なレンジの設定	19	㉒リールデータの表示	51
①底拡大	20	アキュフィッシュの設定	52
②ボトムライン	21	アラームの設定	55
③タイドグラフ	22	アラームの設定・魚群	56
④背景色/⑤画面輝度	23	ヘルプ	57
⑥日付	24	お取り扱い上の注意	58
⑦時刻	25	ご注意/セーフティ機能/仕様	60
⑧デモ画面	26	製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内/分解図	61
⑨初期化	27	サービスネット	62
⑩楽楽モード切替	28		

● 探見丸を安全にお使いいただくために

探見丸CV-FISH の防水規格は JISC 0920 5 級 防噴流形 (IEC:IPX 5) 「いかなる方向からの直接噴流によっても有害な影響を受けない」ですが、水中への浸漬に対する保護機能はありませんのでご注意ください。

又、船縁に設置後の釣り場移動時/ 釣行の移動時には、付属のカバーをかぶせてください。

過度の波浪/ 突起物等から本機を守ります。(下図)

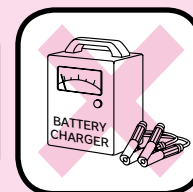
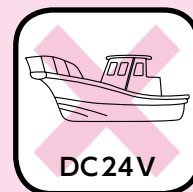
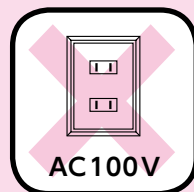
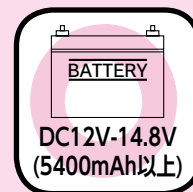


過度の波浪/突起物などから探見丸を守るため、付属のカバーをかぶせてください。

1 お取り扱い上の注意

電源について

電源は直流 (DC) 12 V です。公称電圧が 12 V から 14.8 V までのものをご使用ください。指定外の電源 (たとえば家庭用の交流 100 V、船装備の直流 24 V など) ではご使用できません。バッテリーチャージャーなどは絶対に使わないでください。



- 船に備え付けの電源を利用される時は、電圧が直流 (DC) 12 V から 14.8 V であることをご確認ください。また、端子がサビていると正常に作動しない場合がありますので、サビを取り除いてご使用ください。
- 十分に充電したバッテリーをご使用ください。
- ひとつのバッテリーで、探見丸CV-FISH と電動リールを使用した時、バッテリーの電圧が低下してくると電動リールが先に動かなくなることがあります。
- 電池の種類によっては多少使用可能時間が前後します。

ケーブルについて

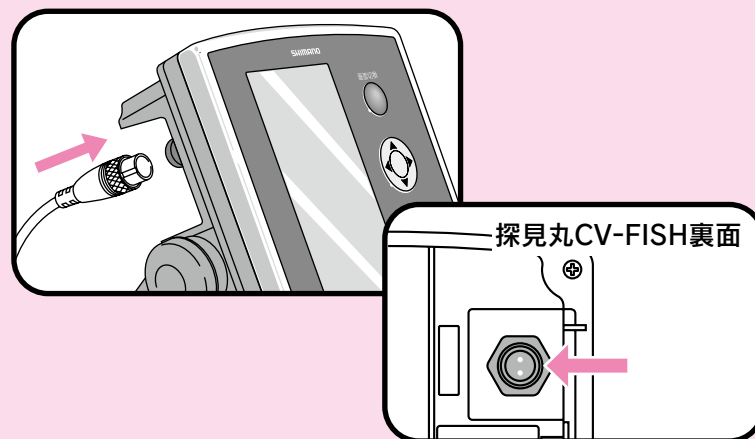
電源との接続は必ず別売の「ライトケーブル」をご使用ください。

ご注意：

- 上記以外の電源ケーブルを使用されると、探見丸が正常に作動しない場合があります。また、電源ケーブルは乱暴に扱わないでください。踏んだり、折り曲げたりすると、故障の原因となります。
- 2004年探見丸（白黒）、2008年探見丸CV 用の電源ケーブル（TK-022C）及び探見丸通信ケーブル（TK-021C）は接続できません。

2 バッテリーとの接続方法

- 1** バッテリーに電源ケーブルを接続してください。
赤クリップを（+）側に、黒クリップを（-）側につないでください。
- 2** 次に探見丸CV-FISF と電源ケーブルを接続します。
電源ケーブルのプラグの凹部と、探見丸CV-FISHの電源のコネクタの凸部を合わせ、奥まで差し込んでネジを締めてください。



単3電池8本でもご使用になれます。

電源ケーブルを接続しない場合はコネクタ用キャップをはめて使用してください。

電池が入った状態でバッテリーから電源を取ることも可能です。その際はバッテリーからの電源が優先されます。

探見丸システムについて

対応電動丸を組み合わせた場合の機能について、詳細はP17をご覧ください。

探見丸システム

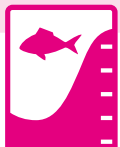
親機からの魚探映像を無線でキャッチ。船べりで魚探が見える！

あらかじめ遊漁船に設置された親機魚探からの情報を探見丸C V-FISH がキャッチ。

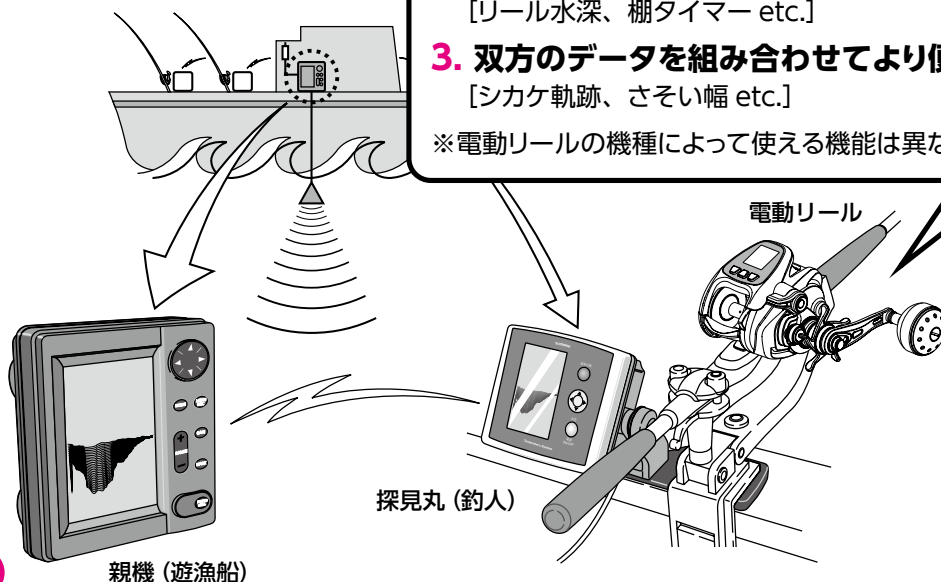
釣座に居ながらにして魚探の映像を見ることができる画期的なシステムです。

〔探見丸対応遊漁船につきましては、弊社ホームページ等をご覧ください。〕

※**ご注意** 探見丸に映る映像はご自身の位置ではなく、親機送受波器の位置映像です。



Tankenmaru
System



さらに探見丸システム対応電動丸と組み合わせることで、双方向に通信が可能となり、使い勝手が広がります。

1. 電動リールの操作が探見丸 CV-FISH で可能に

〔さそい、さそい幅、楽速切替 etc.〕

2. 電動リールからのデータを探見丸 CV-FISH で表示

〔リール水深、棚タイマー etc.〕

3. 双方のデータを組み合わせてより便利な情報を表示

〔シカケ軌跡、さそい幅 etc.〕

※電動リールの機種によって使える機能は異なります。

探見丸システムは、船のキャビンに設置された親機となる魚探が撮った映像を電波で飛ばし、船縁に設置された子機がその電波を受け、魚探映像が映るというシステムです。

探見丸CV-FISH はその通信を確固たるものとするための子機で、通信する「船名」を選択していただく必要があります。港では船が密着しており、数隻の船名が出る場合があります。必ず乗船された船名を確認していただき、選択してください。

海上でも他船の電波が拾える場合がありますが、自船の電波をしっかりとキャッチしていただき、見る事のできなかつた海底映像を見ながら、より想像を膨らませ、楽しい釣りのひとときをお過ごしください。

ご注意：

親機がシフトされている場合、親機の設定及び使用状況によりボトムラインが海底をトレースできない場合がありますが、本機の故障ではございません。魚群探知機特有の現象です。

アキュフィッシュ機能について

アキュフィッシュ機能

アキュフィッシュ機能とは単体魚をフィッシュマークで表示し、単体魚のサイズでも表示することができます。

水深2mから100mの間で、10cmから199cmまでの魚を表示することができます。

ご注意：

単体魚サイズの値は単体魚の大きさを判断する目安になる参考値であり、正確な魚の大きさを示しているものではありません。

● フィッシュマーク表示機能…

さらに見やすくするために、表示された反応を“フィッシュマーク”で表現する機能を搭載しています。魚群探知機の映像に見慣れていない方にも、視覚的に楽しく魚の反応表示を見ていただけます。単体魚サイズに応じてマークの大きさが異なります。

魚のサイズ

大 (100cm~199cm)



中 (50cm~99cm)

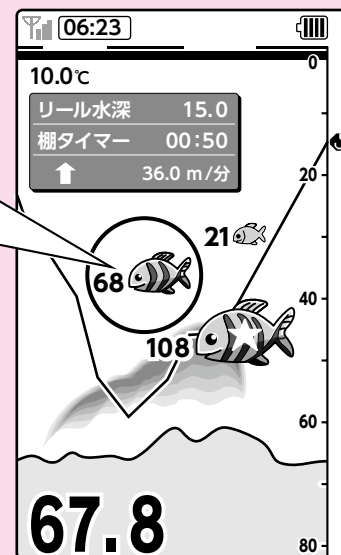


小 (10cm~49cm)



● ACCU-FISH 機能のメリット

10cm 以上の魚の反応をフィッシュマークで表示するため、旧探見丸システムでは判別しづらかったターゲットも見つけやすくなります。



ご注意：アキュフィッシュ機能は古野電気社製の探見丸親機 (FCV 627、FCV628、FCV587、FCV588、FCV1900)に対応しております。
旧探見丸親機 (FN6000T、FF10.4、FCV1150、FCV 1100L、FCV1200L、FCV1500L)には対応していません。

探見丸親機の搭載船につきましては、シマノホームページの探見丸搭載船情報のご確認をお願いします。

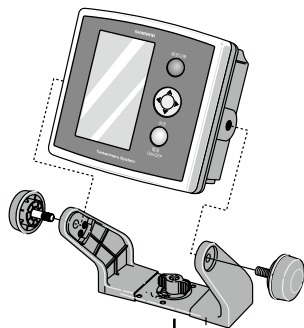
探見丸搭載船情報アドレス

http://fishing.shimano.co.jp/fishing_info/tanken_shipinfo/index.html

システムの設置方法

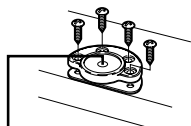
- 1** 探見丸CV-FISH の設置方法は釣りのスタイルに応じてお選びいただけます。
目的に合わせて、下記の取り付け器具・ケーブルを選んでご使用ください。

探見丸CV-FISHセット



①

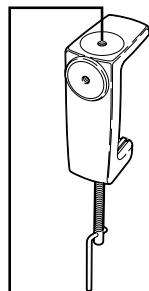
探見丸
船べりベース
船宿様貸し出し
orマイポート
位置固定直付け



パッキンと共に
船べりにネジで
固定

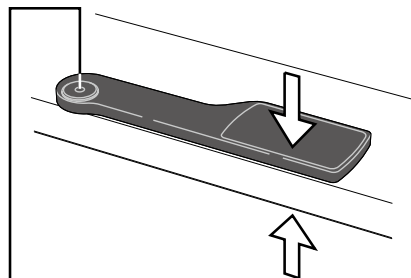
②

探見丸
固定クランプ
ジギングや
カワハギ釣りに



③

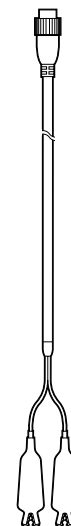
探見丸
サイドボード
市販のロッドキーパーを
使って固定



ロッドキーパーで
船縁に挟み込みます。

④

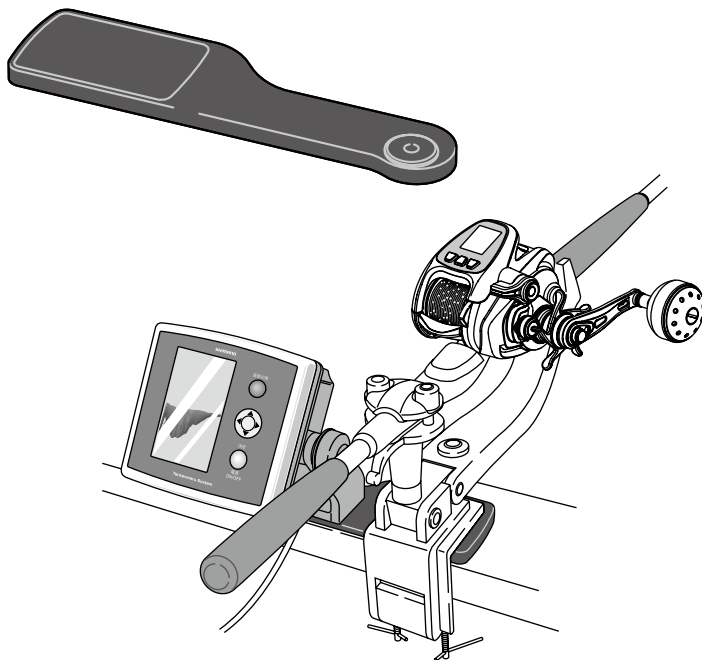
ライトケーブル



DC12V

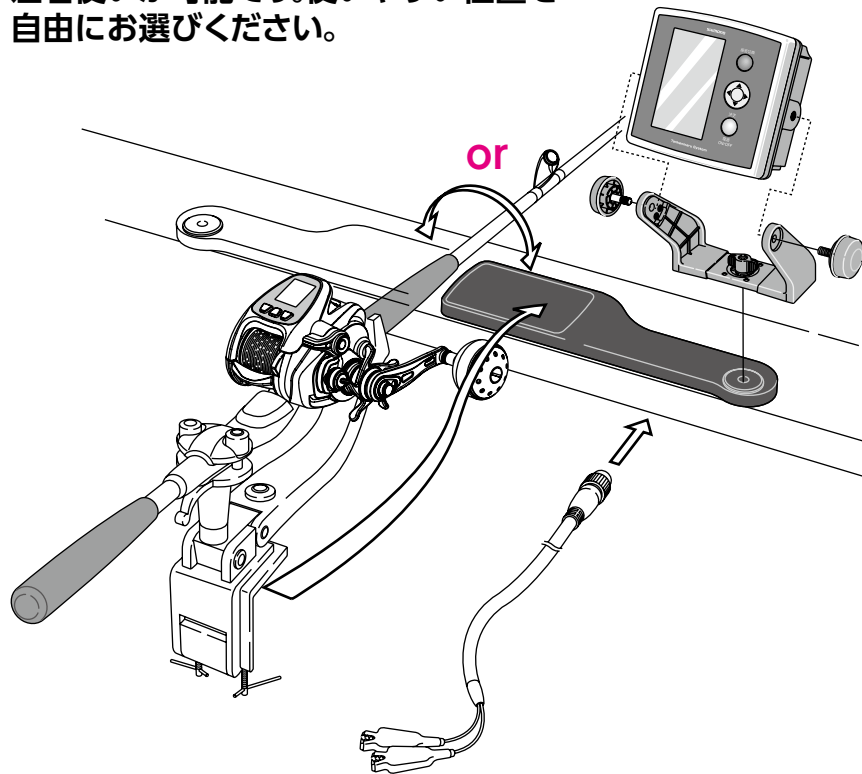
●必要に応じて、ケーブル・取り付け器具を別途お買い求めください。

③ 探見丸サイドボード



ロッドキーパーで船縁に挟み込みます。
リバーシブルで左右使いが可能です。
探見丸システム対応電動リールと同時にシステムを
構成する上での基本ベースです。

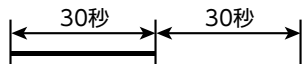
探見丸サイドボードはリバーシブルで
左右使いが可能です。使いやすい位置を
自由にお選びください。



④ ライトケーブル

魚探画面と操作ボタンについて

分時マーク(30秒ごとに1本)



親機との通信状態を表示しています。

バーが1本でも電波は弱いですが通信は可能です。



水温

古野電気社製の探見丸親機に水温センサーが接続されているものに限ります。

デモ表示を選択されている時、点灯します。

仕掛の軌跡 ※1

海底

魚群

補助説明ウィンドウ

深度(海底水深)

ライン速度実測値 ※1

実際の巻上げ速度と落下速度を表示します。

棚タイマー ※1

リール水深表示 ※1

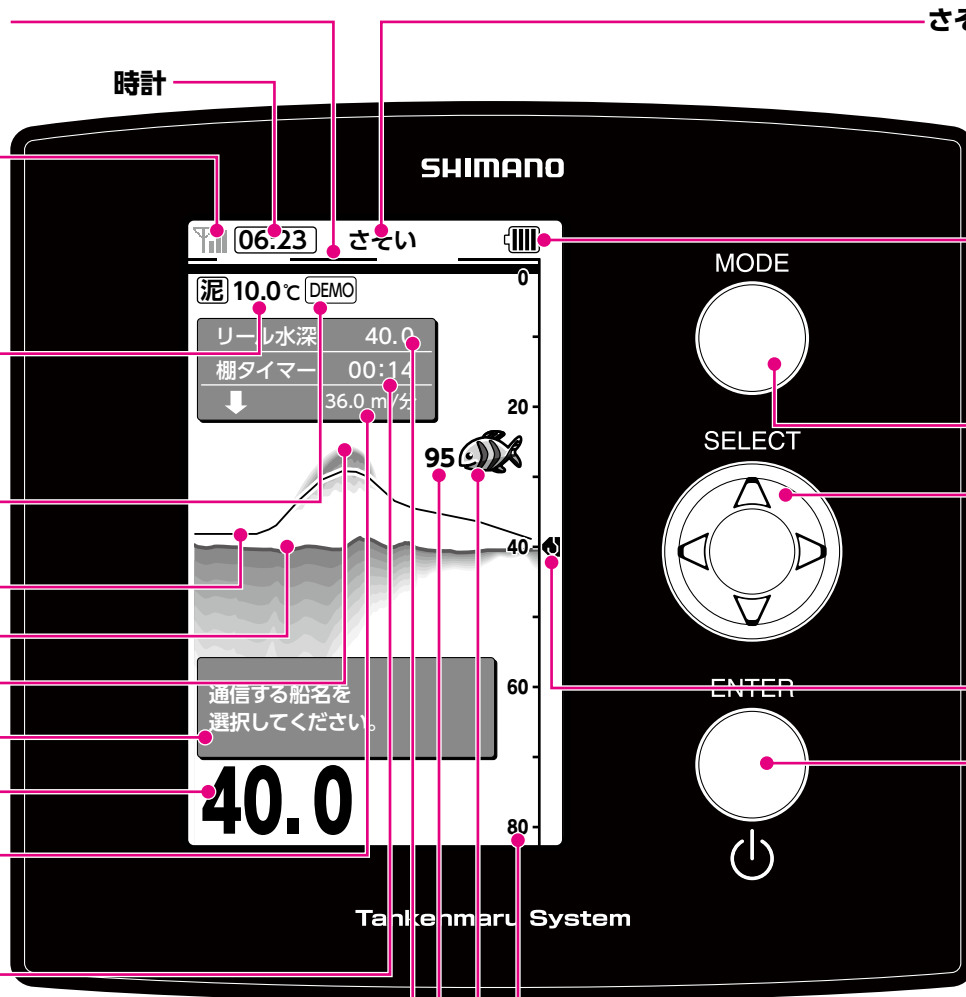
(電動リールカウンター表示水深)

魚体長(単位:cm)

フィッシュマーク

時計

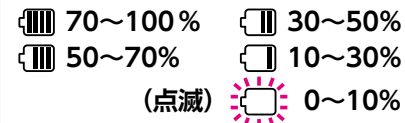
SHIMANO



さそいを選擇されている時点灯します。※1

バッテリー残量

(乾電池使用の時のみ点灯)



画面を切り換えます。

選択カーソルの移動に用います。

▼▲ボタンを押すとレンジの変更ができます。
▶ボタンを押すと元のレンジに戻ります。
さそい機能をONにした時◀ボタンを押すとさそいの開始/停止をします。※1

シカケマーク ※1

①電源のON/OFF

電源ON…2秒以上長押し
電源OFF…3秒以上長押し

②決定

選択したメニューの設定を実行します。

③シカケ位置補正 ※1

設定時に、底取を行った時点で押します。

深度目盛

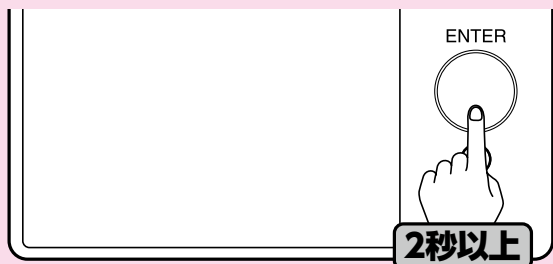
ご注意:図は説明のために必要な表示を全部点灯させています。

※1印は対応電動リール接続時に機能します。

起動

探見丸CV-FISH を起動します。

※取扱説明書の全ての画面図は例として表記しています。
実際とは異なりますのでご了承ください。

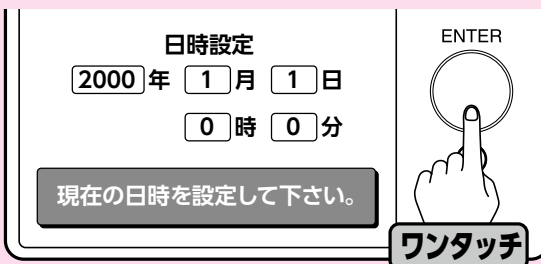


- 1** 電源 ボタンを2秒以上押してください。電源が入ると画面にオープニング画像が表示されます。

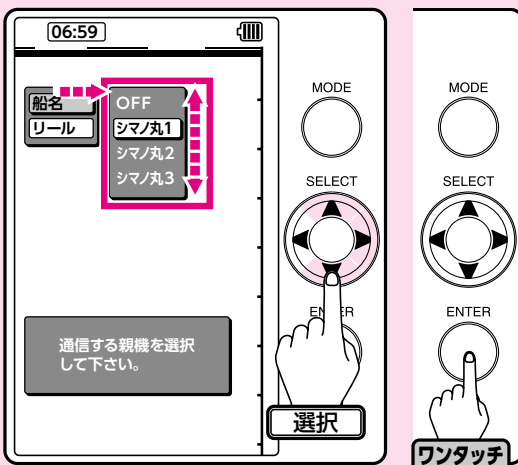
※ **2****3** は初回起動時のみの設定になります。
2回目以降は手順**4**からご参照ください。



- 2** ▼と▲で数値を変更し、▶ ボタンを押します。「年」「月」「日」「時」「分」を順番に設定します。



- 3** 設定完了後、ENTERボタンを押してください。



- 4** 船名選択画面で[船名]を選択して、▶ を押してください。▼と▲で通信する船名を選択し、ENTERボタンを押してください。

※電動リールから電波を受信している場合、[リール]が表示されます。

船釣りの場合、ご乗船される船名の選択

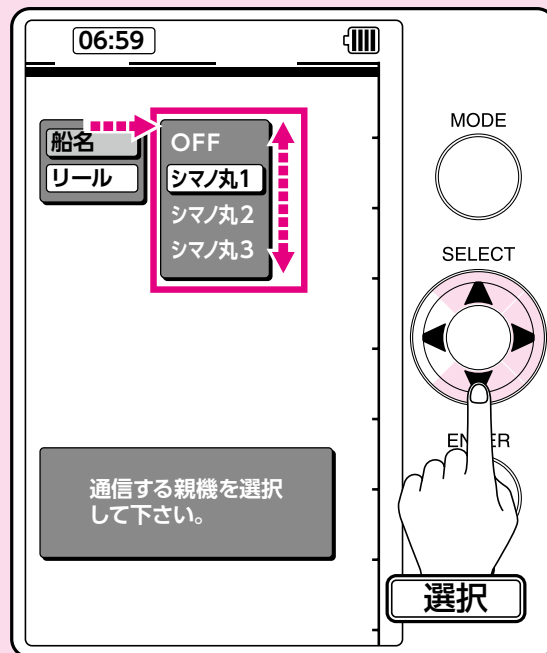
ご乗船される船名を選択してください。

探見丸システムは、船のキャビンに設置された親機となる魚探が取った映像を電波で飛ばし、船縁に設置された子機がその電波を受け、魚探映像が映るというシステムです。

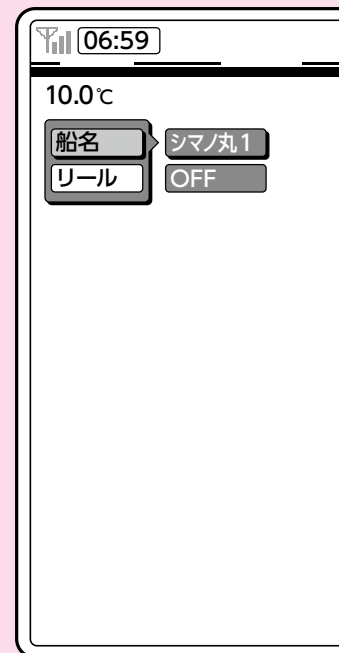
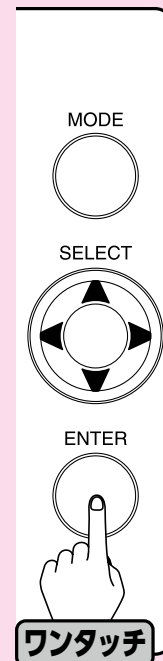
探見丸CV-FISHは、その通信を確固たるものとするための子機で、通信する「船名」を選択していただく必要があります。

港では船が密着しており、数隻の船名が出る場合があります。必ず乗船された船名を確認していただき選択してください。

海上でも他船の電波が拾える場合がありますが、自船の電波をしっかりとキャッチしていただき、見る事のできなかつた海底映像を見ながら、より想像を膨らませ、楽しい釣りのひとときをお過ごしください。



1 船名選択画面で[船名]を選択して、▶を押してください。▼と▲で通信する船名を選択し、決定ボタンを押してください。

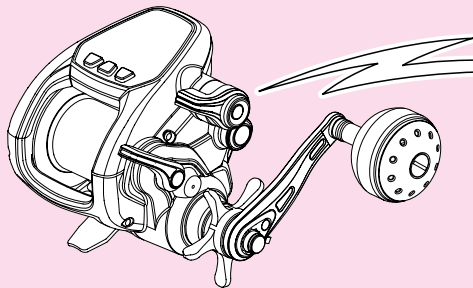


2 船名が設定されます。

ご注意：遊漁船の親機がONになっていない場合や電波が届かない場所（ご自宅など）では船名の選択画面に船名が表示されません。

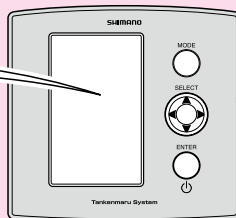
電動リールと探見丸 CV-FISH のアクセス操作手順

① 電動リール電源 ON



① 電動リールの電源を ON にして、無線通信機能を ON にし、リール ID ナンバーを表示させてください。

② 探見丸 CV-FISH 電源 ON



メニューで
リールIDナンバー
選択

② 探見丸 CV-FISH の電源を ON にし、リール固有の ID ナンバーを選択してください。これでアクセス完了です。

※周りに探見丸無線通信機能を搭載の電動リールを使用されていますと、複数の ID ナンバーが表示されますのでお間違いない様にご自身のリール ID ナンバーを選択してください。

※ご注意 1：無線での通信のため、使用状況により通信が途切れる場合がありますが、故障ではございません。

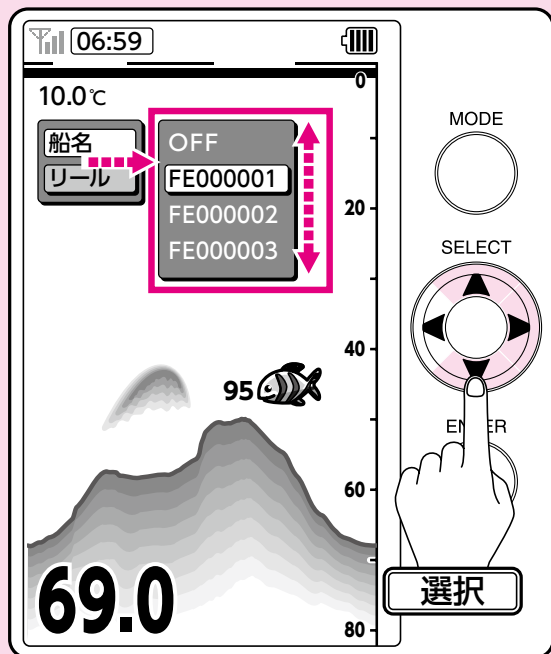
※ご注意 2：探見丸搭載船でのみ電動リールと探見丸 CV-FISH の接続が可能です。

販売店様の店内やご自宅で、電動リールと探見丸 CV-FISH の接続はできません。

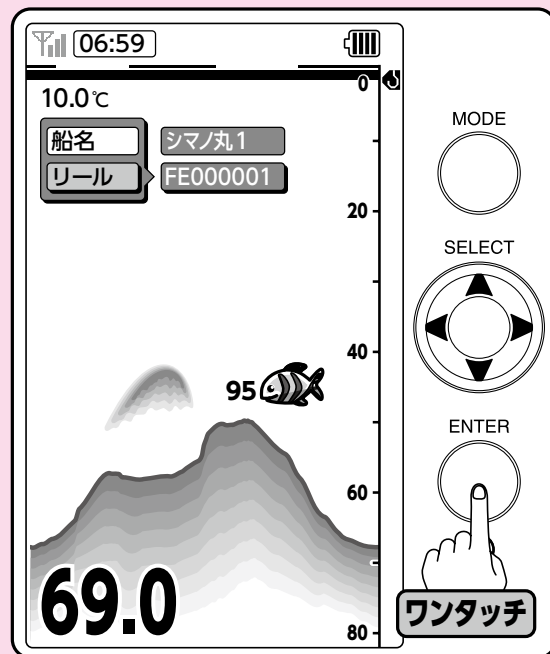
(探見丸親機からの電波を受信することで、電動リールと探見丸 CV-FISH の接続が可能になります。)

電動リールとの通信設定

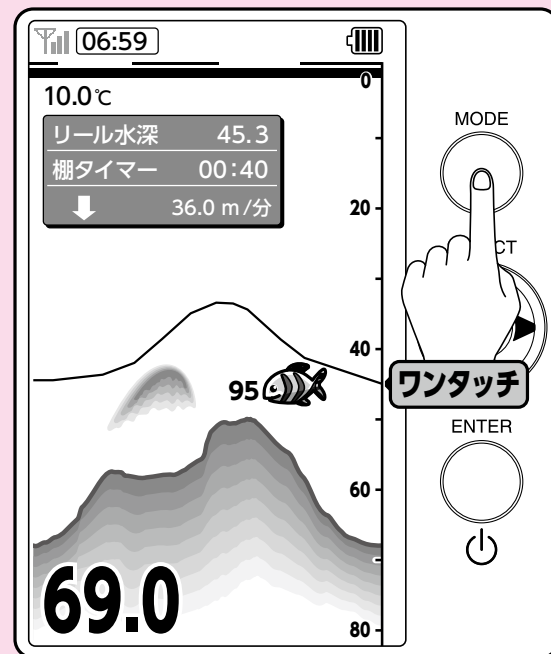
探見丸CV-FISHと無線通信する電動リールのIDナンバーを選択してください。



1 船名選択画面で[リール]を選択して、▶を押してください。▼と▲でご使用になる電動リールのIDナンバーを選択してください。



2 決定ボタンを押すと設定完了です。



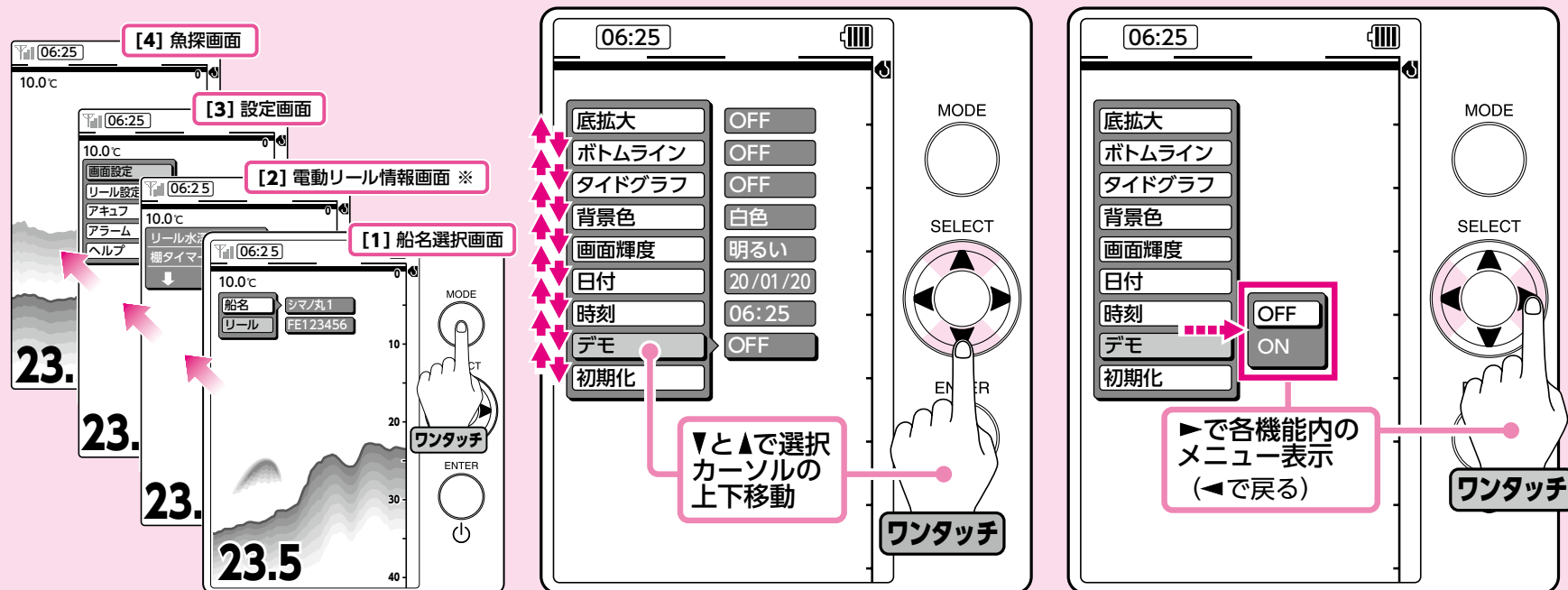
3 画面切換ボタンを押して、電動リール情報画面に切り換えると、電動リールの情報が表示されます。

ご注意：お間違えのないように、ご自身の電動リールのIDナンバーをお選びください。

設定画面の操作方法

探見丸CV-FISHの設定は全て設定画面で行います。

必要に応じて下記の操作方法を参照してください。各画面の解説および設定可能な機能はP17～18までをご覧ください。
(危険防止のために、電動リール接続の際はモーターOFF時のみ設定画面に入ることができます。)



- 1 モーターが停止した状態で、画面切換ボタンを押すごとに[1]、[2]、[3]、[4]の順に切り換わります。

ご注意：

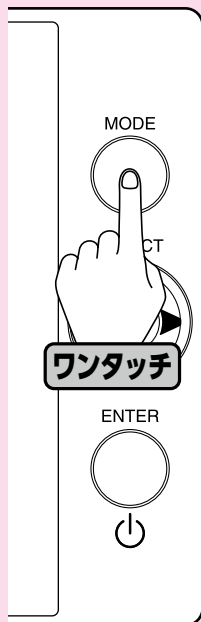
※電動リール情報は電動リールを接続されていない場合は表示されません。

- 2 ▼と▲で選択カーソルを上下に移動させ、設定したい機能に合わせます。選択できない機能は現在使用不可能です。設定途中に接続した電動リールのモーターをONしたり、再度画面切換ボタンを押した場合は、設定の変更が行われず、画面が切り換わります。

- 3 ▶を押すと各機能内のメニューが表示されます。表示されるメニューの内容は選択した機能によって異なります。図は[デモ]を選択した場合を例としています。

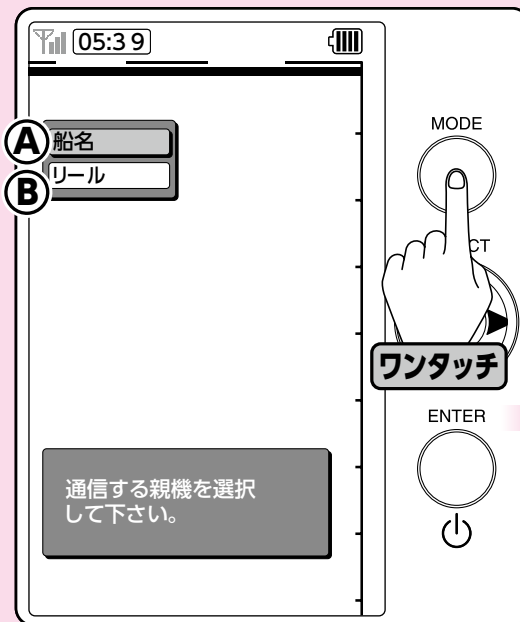
- 4 設定画面に戻る場合は◀ボタンを押します。

画面の切換え



- [画面切換え]で各画面を切り換えることができます。

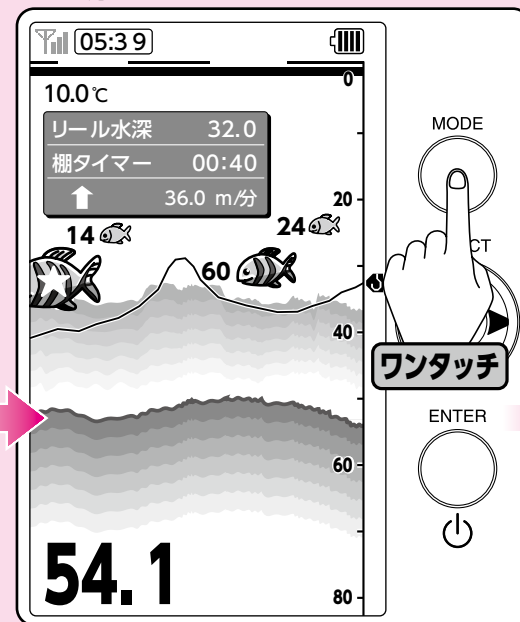
船名選択画面



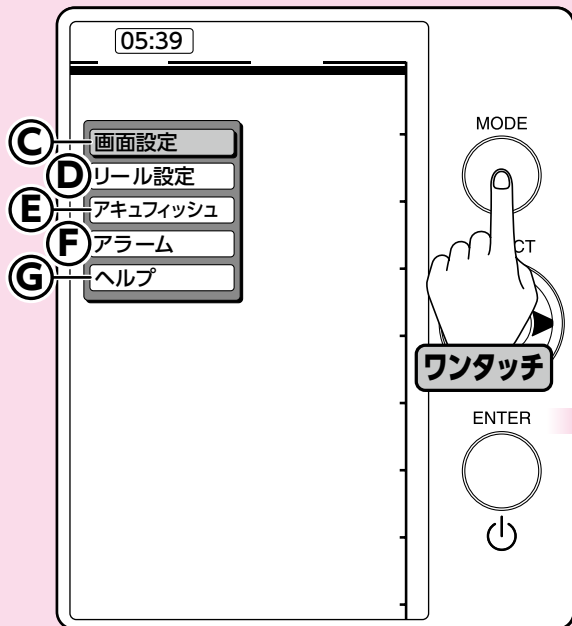
- A [船名]・・・(P11へ)
通信する船名を選択します。
- B [リール]・・・(P12へ)
通信する電動リールを選択します。

電動リール情報画面

※電動リールが接続されていない場合は画面は表示されません。



設定画面

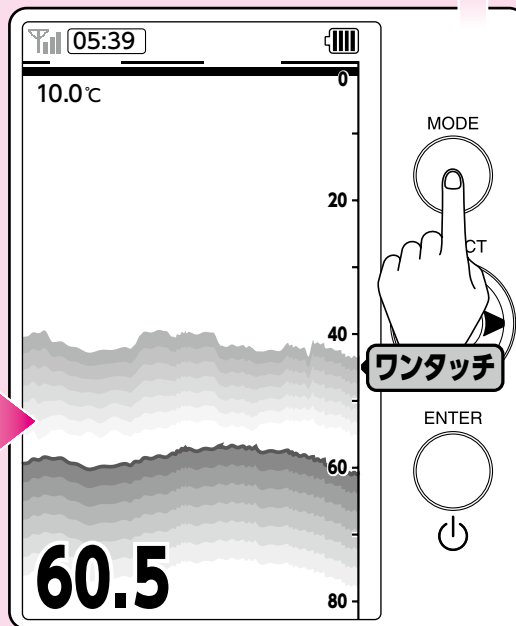


Ⓒ **[画面設定]**…(P17へ)
探見丸CV-FISH単体の機能
[画面設定画面へ]

Ⓓ **[リール設定]**…(P13へ)
電動リールと通信状態で使用できる機能
[リール設定画面へ]

船名選択画面

魚探画面



Ⓔ **[アクьюフィッシュ]**…(P52へ)
単体魚をフィッシュマークで表示し、単体魚のサイズでも表示することができます。

Ⓕ **[アラーム]**…(P55へ)
魚群アラームのON/OFFの切換。

Ⓖ **[ヘルプ]**…(P57へ)
機能の説明

探見丸CV-FISHの機能一覧 ～単体の機能～

探見丸CV-FISH単体では、
下記の機能をご使用いただけます。



- ① **[底拡大]**… (P20へ)
魚探画面の下半分を2倍に拡大表示します。
- ② **[ボトムライン]**… (P21へ)
魚探画面で底と思われる部分にラインを引きます。
- ③ **[タイドグラフ]**… (P22へ)
指定した地域の潮汐を確認することができます。
- ④ **[背景色]**… (P23へ)
画面の背景色を設定できます。
- ⑤ **[画面輝度]**… (P23へ)
画面の明るさを3段階で調整できます。
- ⑥ **[日付]**… (P24へ)
日付の設定を行います。
- ⑦ **[時刻]**… (P25へ)
時刻の設定を行います。
設定後、魚探画面に表示されます。
- ⑧ **[デモ]**… (P26へ)
魚探画面で魚探のデモ画面が表示されます。
- ⑨ **[初期化]**… (P27へ)
出荷状態に戻します。

探見丸CV-FISHの機能一覧 ～電動リール対応機能～

対応電動リールと組み合わせますと、さらに以下の機能がご使用可能です。



対応電動リールはこのマークが目印です。

※対応電動リールの機種によって使用可能になる機能は異なります。

④ リール設定画面

10	楽速切替	楽楽
11	糸送り	ON
12	上/底切替	上から
13	さそい	OFF
14	さそい幅	連続
15	棚停止	OFF
16	オートさそい	OFF
17	仕掛軌跡	ON
18	位置補正	OFF
19	仕掛回収	OFF
20	水深並列表示	ON
21	ファイト時間表示	OFF
22	リールデータ	OFF

現在の設定

⑩ [楽速切替]… (P28へ)

楽速モード・速度一定モードの切り替えができます。

⑪ [糸送り]… (P29へ)

糸送り機能のON/OFFが操作できます。

⑫ [上/底切替]… (P30へ)

「上から/ 底から」機能を切り替える事ができます。

⑬ [さそい]… (P31へ)

さそい種類が選択でき、さそいパターンの入力も可能です。

⑭ [さそい幅]… (P36へ)

さそいを実行する幅を設定します。

⑮ [棚停止]… (P39へ)

棚停止モードON/OFF、および棚停止水深の設定ができます。

⑯ [オートさそい]… (P40へ)

棚停止後、自動的にさそい動作を開始させる事ができます。

⑰ [仕掛軌跡]… (P44へ)

仕掛の軌跡のON/OFFが選択できます

⑱ [位置補正]… (P46へ)

仕掛表示位置の補正。さそいON時は使用不可。

⑲ [仕掛回収]… (P48へ)

仕掛が船縁まで回収される時間が表示されます。

⑳ [水深並列表示]… (P49へ)

リールの水深と海底の水深を並列に表示します。

㉑ [ファイト時間表示]… (P50へ)

電動で巻き始めた時から、船縁停止までにかかった時間を表示します。

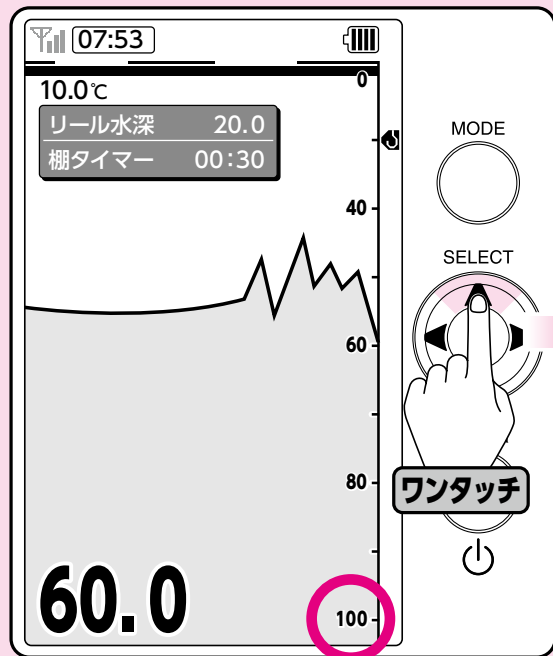
㉒ [リールデータ]… (P51へ)

本機に接続されている電動リールのデータ (巻上距離・使用時間・ブレーカー作動回数) を見ることができます。

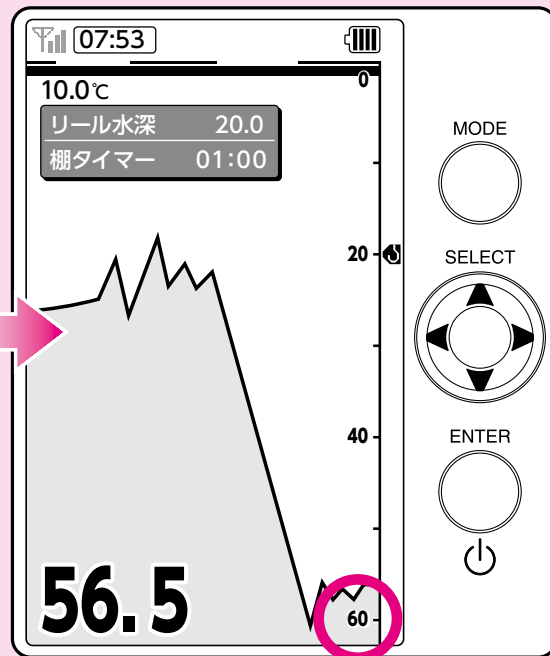
簡単なレンジの設定

底のレンジを簡単に変更することができます。

底の映像が画面の中央にあり、魚影の反応等が見づらい時、▼と▲を押すとレンジを変更することができます。



- 1** もっと上を拡大して見たい!
見づらい…
このような場合に▲を押すと…
※現在のレンジは「100m」です。



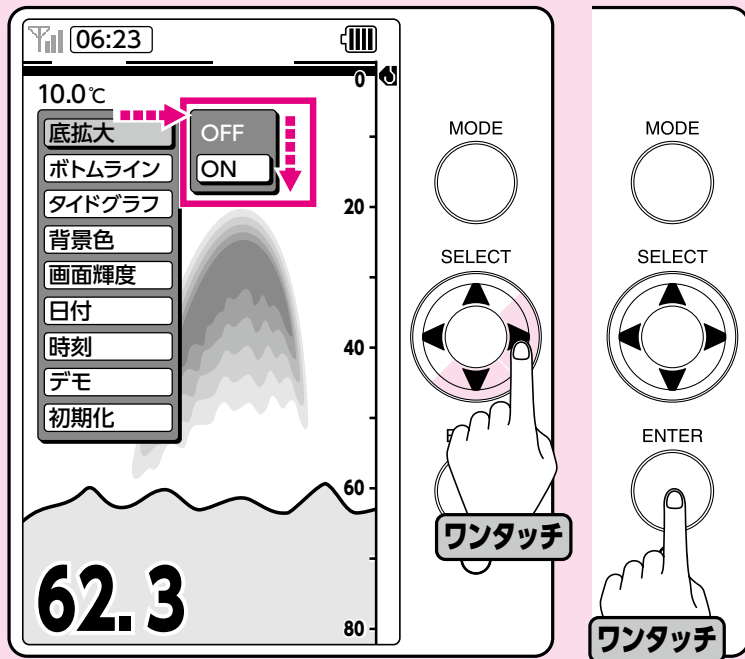
- 2** 底より上を広範囲に表示し始めます。
※レンジを「100m」から「60m」に変更しました。



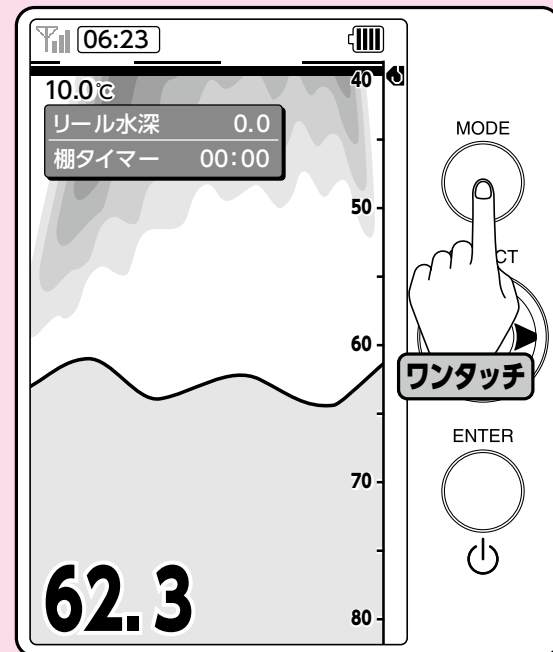
- 3** 元に戻す時は▶で戻ります。
※レンジを「60m」から「100m」に戻しました。

①底拡大

魚探深度の下半分を縦方向に2倍に拡大します。
海底付近の魚群を把握するのに便利です。



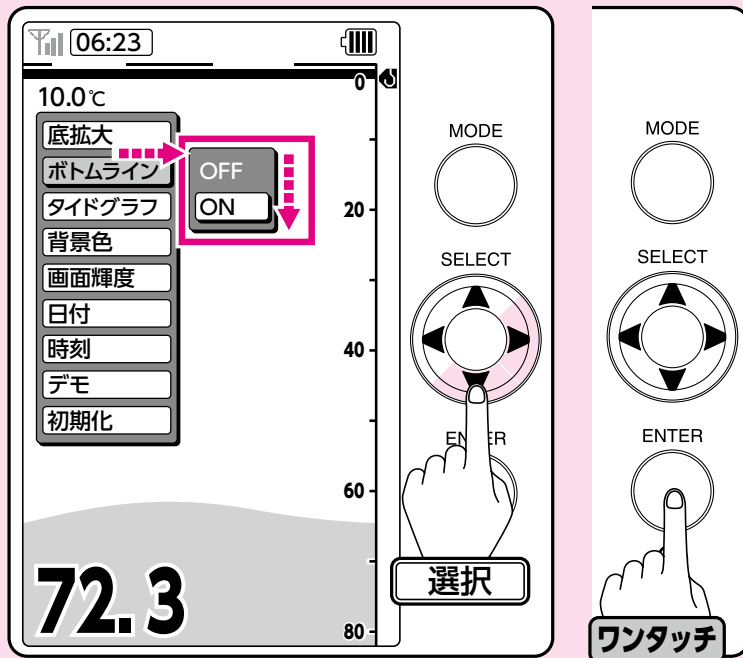
1 画面設定画面で[底拡大]→[ON]を選択し決定ボタンを押してください。



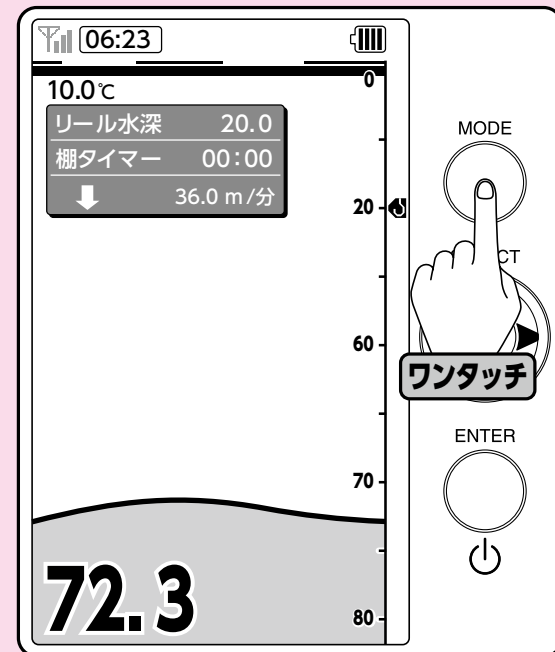
2 画面切換ボタンで魚探画面に戻ると、魚探深度の下半分を縦方向に2倍に拡大して表示します。

② ボトムライン

魚探画面の海底部に境界線を表示できます。



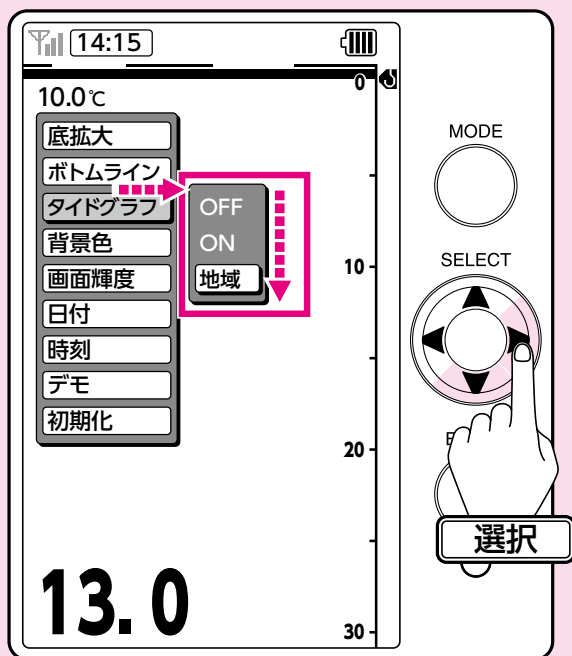
- 1 画面設定画面で[ボトムライン]→[ON]を選択し、決定ボタンを押してください。



- 2 画面切換ボタンで魚探画面に戻ると、海底部に境界線が表示されます。根が多数あり複雑な場合、ボトムラインが上、下へと切り替わることがあります。その場合は根が単体ではなく複数あることを意味しています。

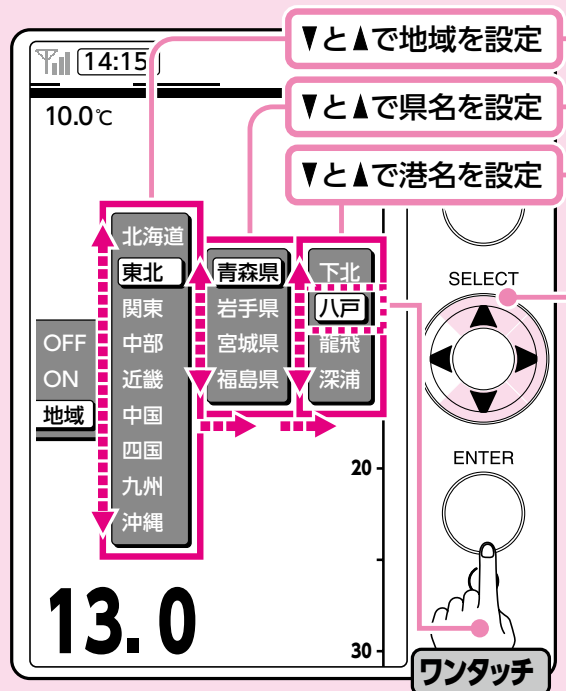
③ タイドグラフ

指定した地域の潮汐(タイド)を確認することができます。



- 1** 画面設定画面で[タイドグラフ]→[地域]を選択して、▶ボタンを押してください。

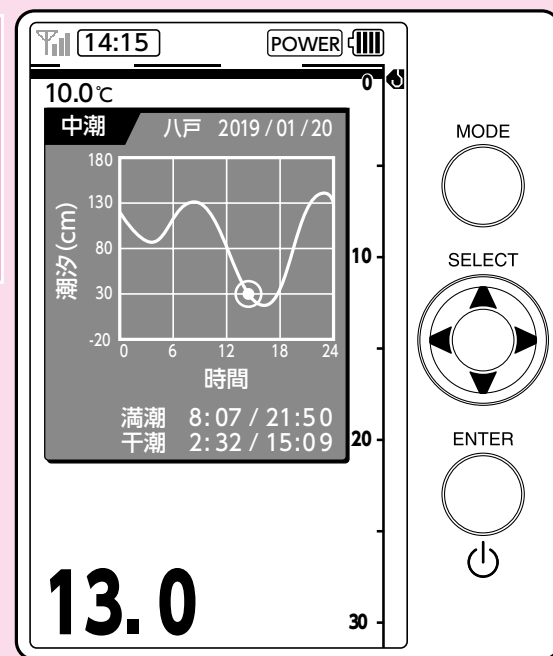
※ [地域] の設定が完了している場合は [ON] を選択して決定ボタンを押してください。



- 2** ▼と▲で[地域]を選択して、▶ボタンを押してください。

- 3** ▼と▲で[県名]を選択して、▶ボタンを押してください。

- 4** ▼と▲で[港名]を選択して決定ボタンを押してください。

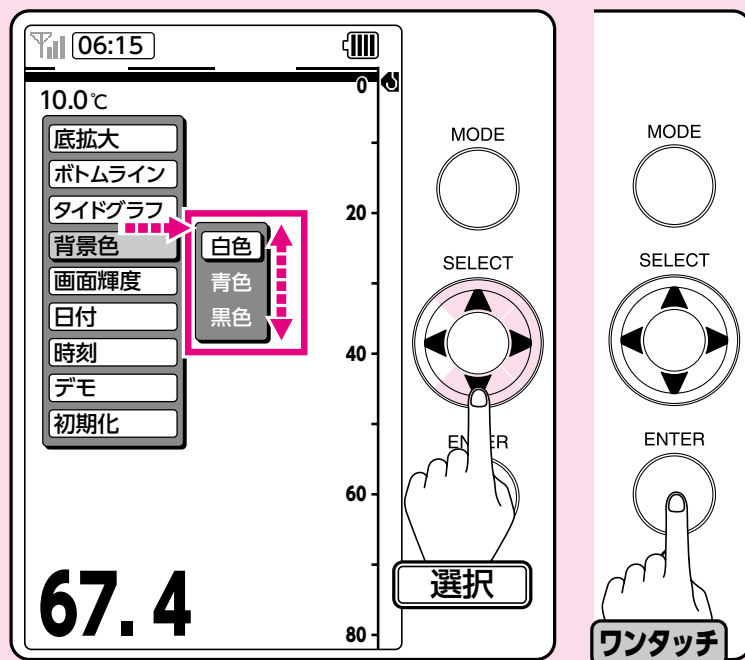


- 5** タイドグラフが表示されます。

④ 背景色 / ⑤ 画面輝度

魚探画面の背景色を設定できます。

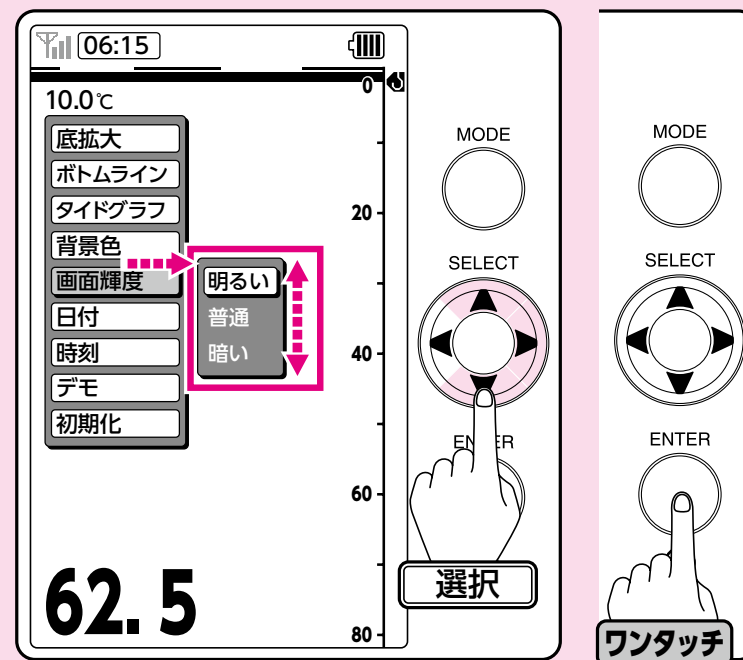
[白色]・[青色]・[黒色]からお好みで選択できます。



画面設定画面で[背景色] → [白色]・[青色]・[黒色]のいずれかを選択し、決定ボタンを押すと設定完了です。

画面輝度を選択することができます。

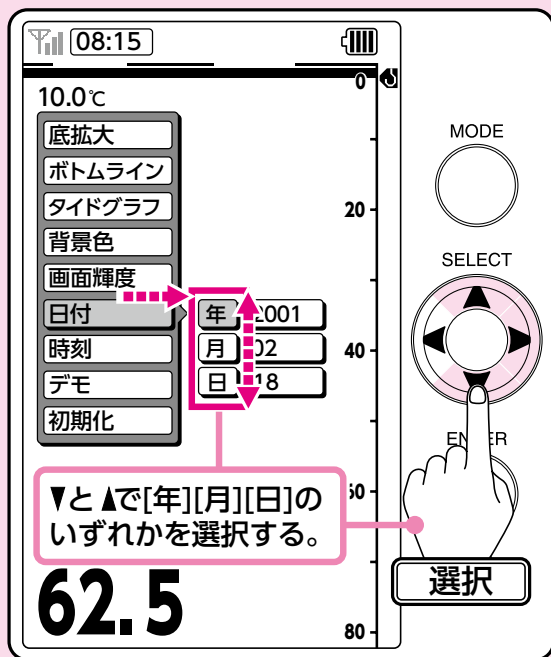
画面の明るさを3段階で調整できます。



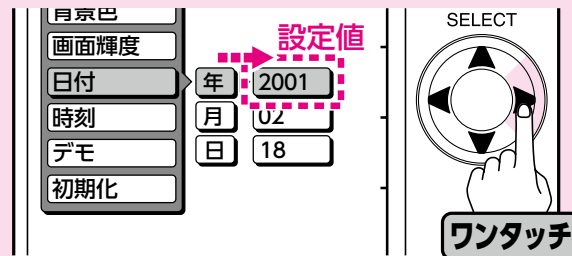
画面設定画面で[画面輝度] → [明るい]・[普通]・[暗い]のいずれかを選択し、決定ボタンを押すと設定完了です。

⑥ 日付

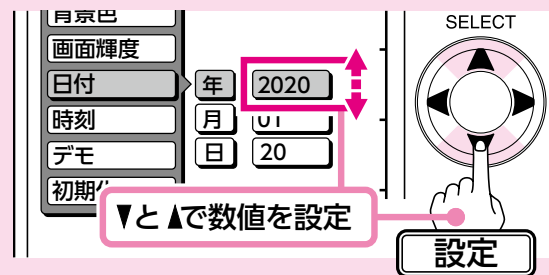
現在の日付に合わせてご利用ください。



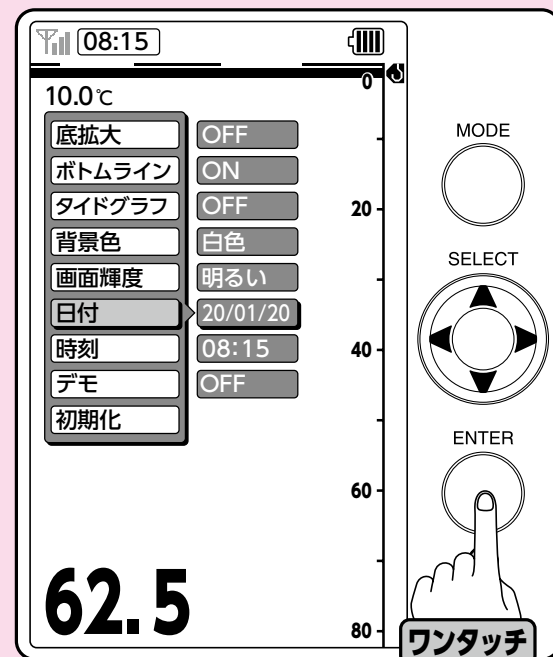
- 1** 画面設定画面で[日付]を選択し、▶で[日付]のメニューを表示させます。
▼と▲で設定する[年]・[月]・[日]のいずれかを選択します。



- 2** [年]・[月]・[日]のいずれかを選択し、▶を押してください。



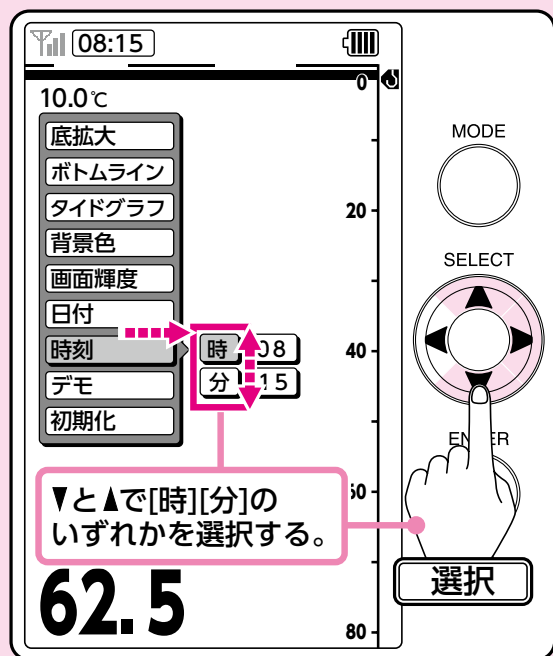
- 3** ▼と▲を押すと数値が増減しますので、現在の日付に設定してください。
※他の設定値も変更する場合は ◀ ボタンを1回押して戻り続けて行います。



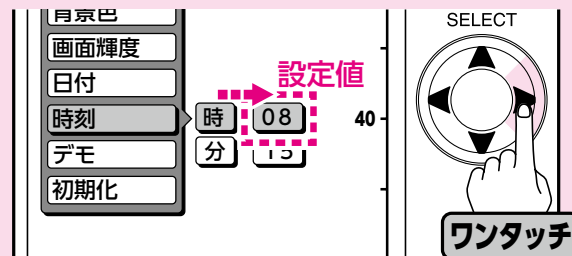
- 4** 決定ボタンを押すと設定完了です。

⑦時刻

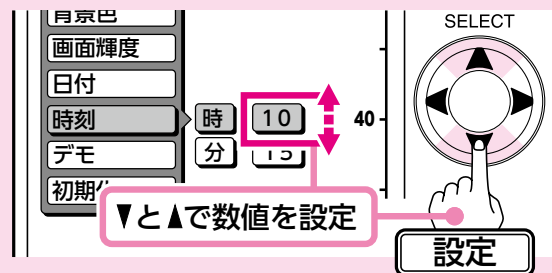
画面左上に時刻を表示していますので、現在の時刻に合わせてご利用ください。



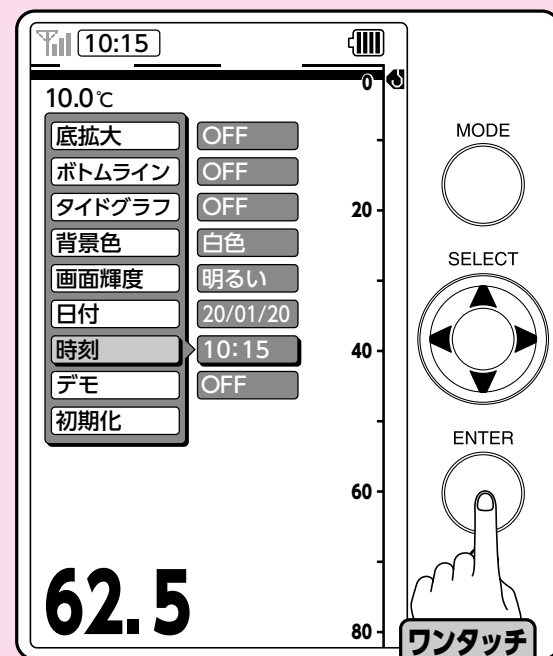
- 1** 画面設定画面で[時刻]を選択し、▶で[時刻]のメニューを表示させます。▼と▲で設定する[時]・[分]のいずれかを選択します。



- 2** [時]・[分]のいずれかを選択し、▶を押してください。



- 3** ▼と▲を押すと数値が増減しますので、現在の時刻に設定してください。
※他の設定値も変更する場合は ◀ ボタンを1回押して戻り、続けて行います。

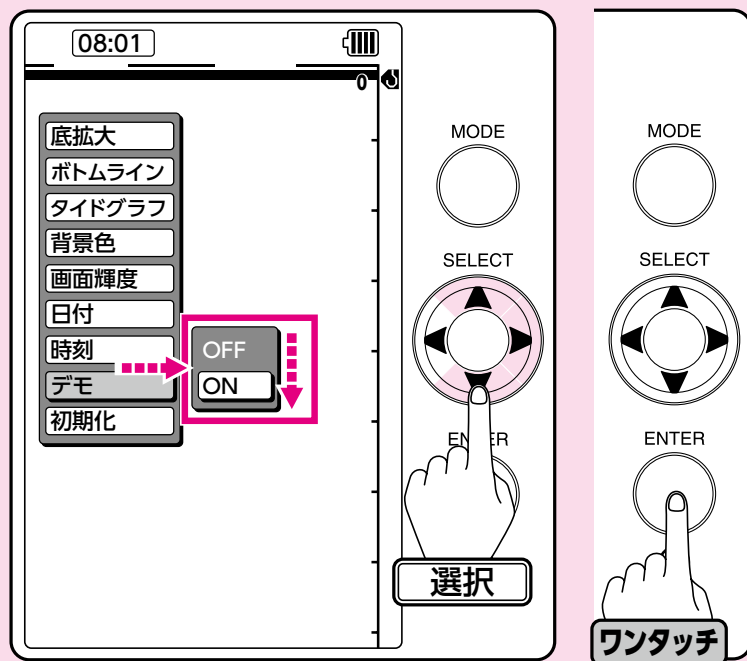


- 4** 決定ボタンを押すと設定完了です。

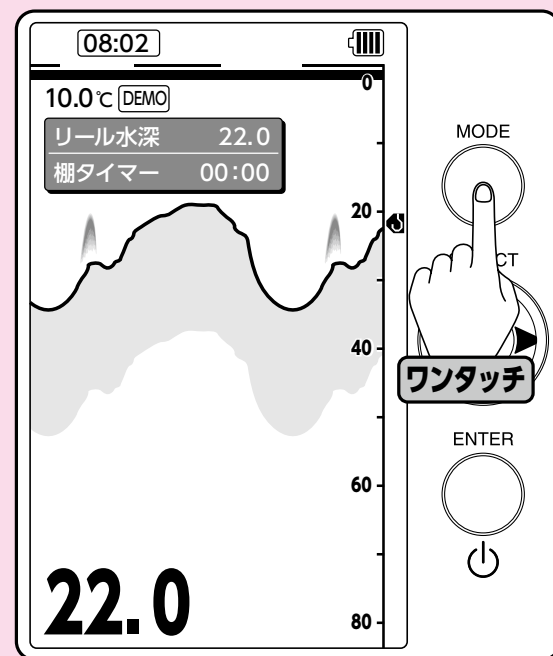
⑧ デモ画面

デモ画面をご覧ください。

実際の釣行前の参考としてご利用ください。



- 1 画面設定画面で[デモ]→[ON]を選択し、決定ボタンを押してください。



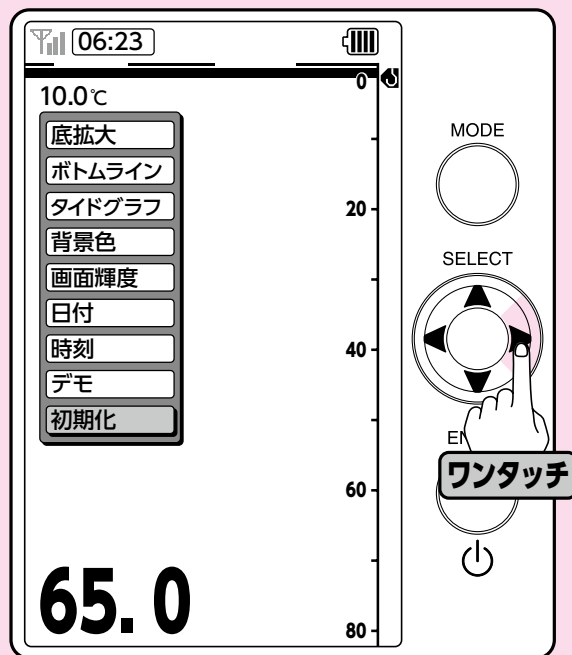
- 2 画面切換ボタンで魚探画面に戻ると、デモ画面が表示されます。

※デモ画面がONの状態でも「船名を選択」されますと自動的にOFFとなり、選択された船の映像が映し出されます。

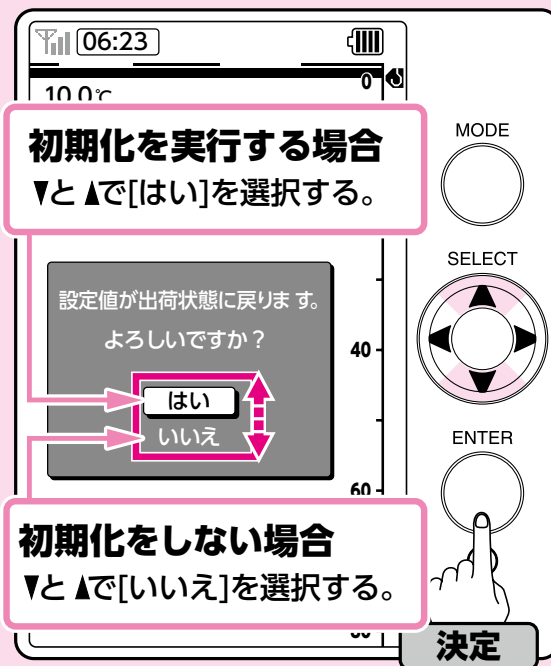
⑨初期化

設定値を出荷状態に戻します。

※初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、出荷状態に戻りますのでご注意ください。



画面設定画面で [初期化] を選択して、
▶ ボタンを押してください。



初期化を実行する場合

▼と▲で[はい]を選択する。

設定値が出荷状態に戻ります。

よろしいですか？

はい

いいえ

初期化をしない場合

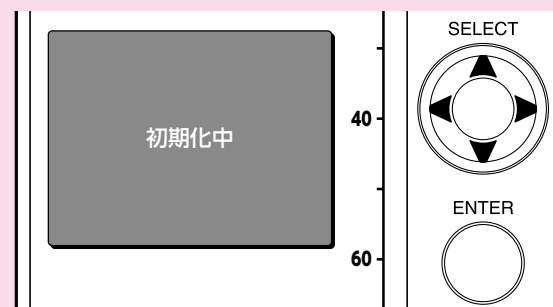
▼と▲で[いいえ]を選択する。

初期化をしない場合

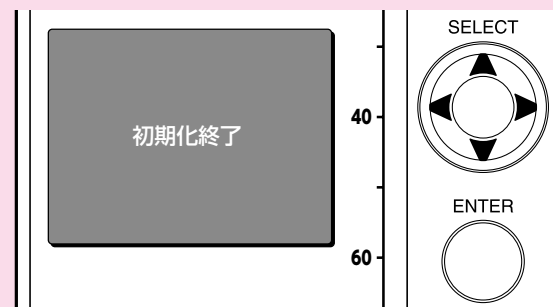
▼と▲で [いいえ] を選択し、決定ボタンを押してください。

初期化を実行する場合

1 ▼と▲で [はい] を選択し、決定ボタンを押してください。



2 初期化には約5秒ほど時間がかかります。画面に[初期化終了] と表示されるまで、ボタンの操作をおこなわないでください。

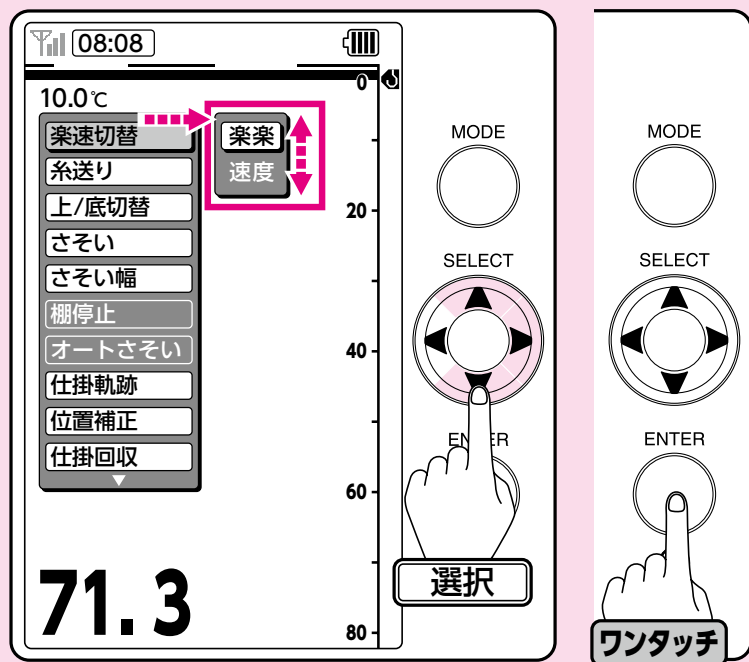


3 画面に[初期化終了] と表示されると初期化の完了です。電源が自動的にOFF になります。

10 楽速切替

ご使用の電動リールの楽楽モード・速度一定モードの切替えが探見丸CV-FISHから操作できます。

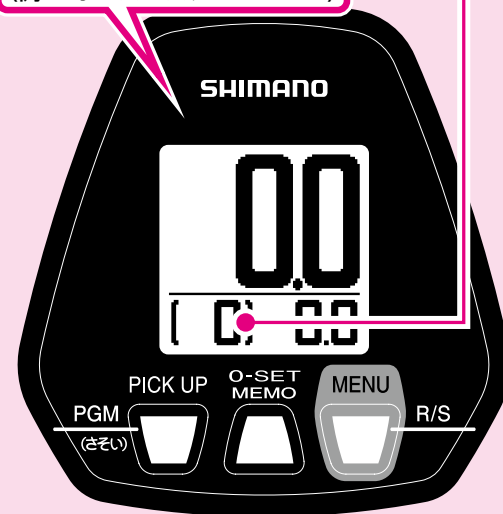
楽楽モード・速度一定モードの機能の詳細は対応電動リール取扱説明書をご参照ください。



- 1 リール設定画面で[楽速切替]→[楽楽]または[速度]を選択し、決定ボタンを押してください。

楽楽モードへ切替え時は[楽]を3秒間、速度モードへ切替え時は[速]を3秒間、表示します。

電動リール液晶
(例.フォースマスター3000XP)

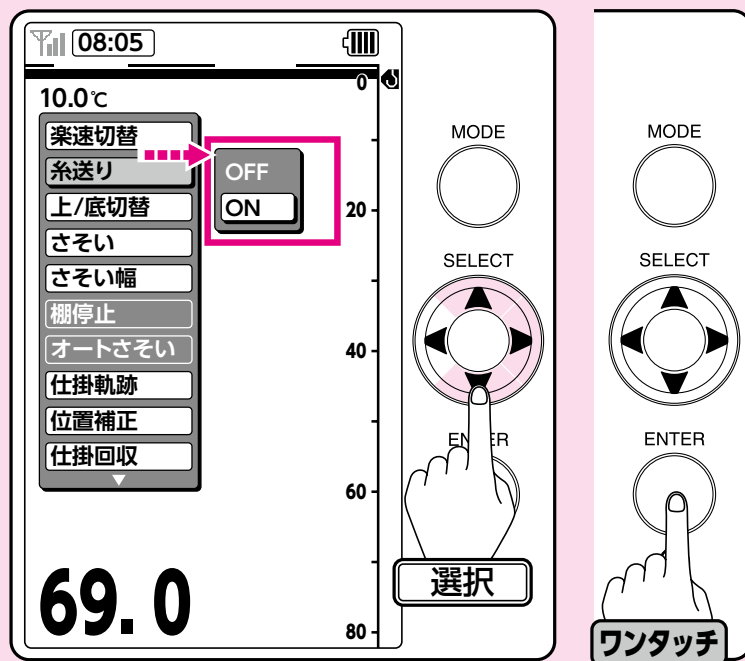


- 2 電動リールの設定が変更されます。

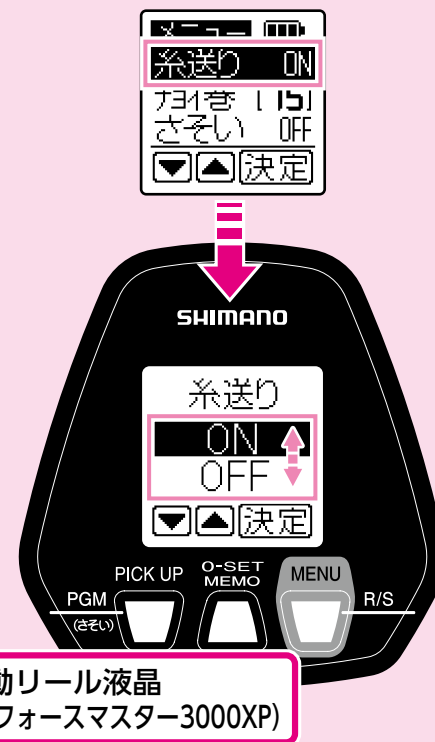
⑪糸送り

ご使用の電動リールの自動糸送り機能の[ON]・[OFF]が、探見丸CV-FISHから操作できます。

自動糸送り機能の詳細は対応電動リール取扱説明書をご参照ください。



1 リール設定画面で[糸送り]→[ON]または[OFF]を選択し、決定ボタンを押してください。

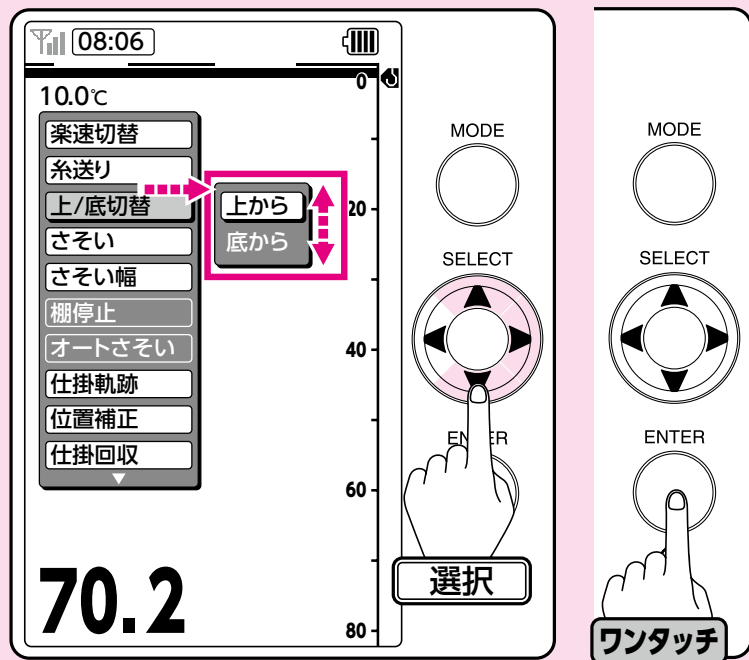


2 電動リールの設定が変更されます。

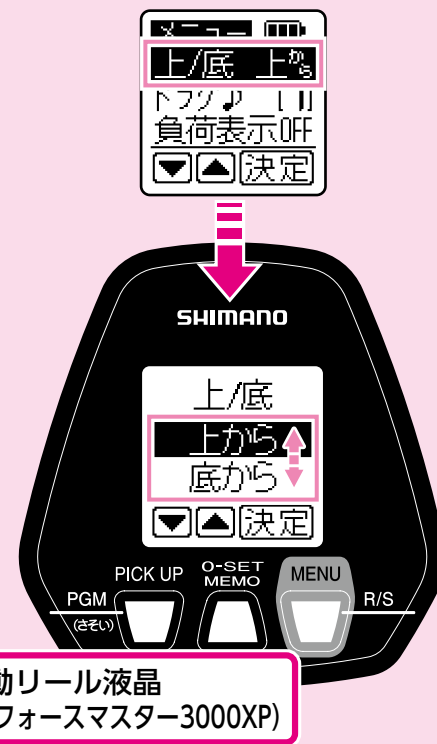
⑫ 上／底切替

ご使用の電動リール水深表示の[上から] (水面から)・[底から]を、探見丸CV-FISHから変更できます。

上から・底からモードの機能の詳細は対応電動リール取扱説明書をご参照ください。



- 1 リール設定画面で[上/底切替] → [上から] (水面から) または [底から] を選択し、決定ボタンを押してください。



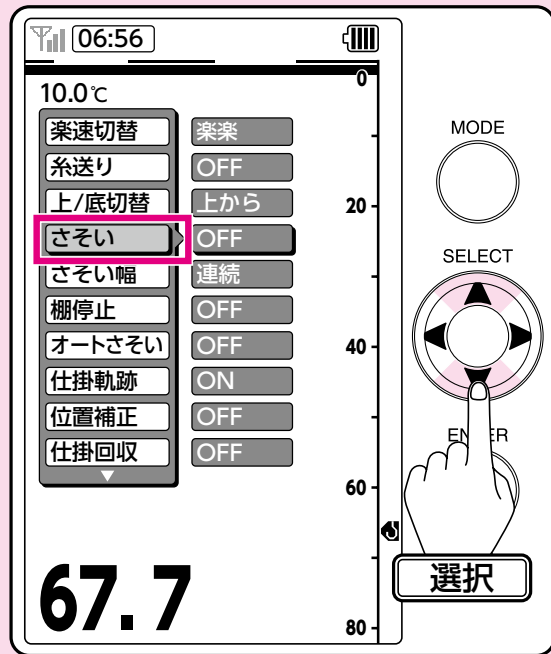
- 2 電動リールの水深表示が変更されます。

⑬ さそい

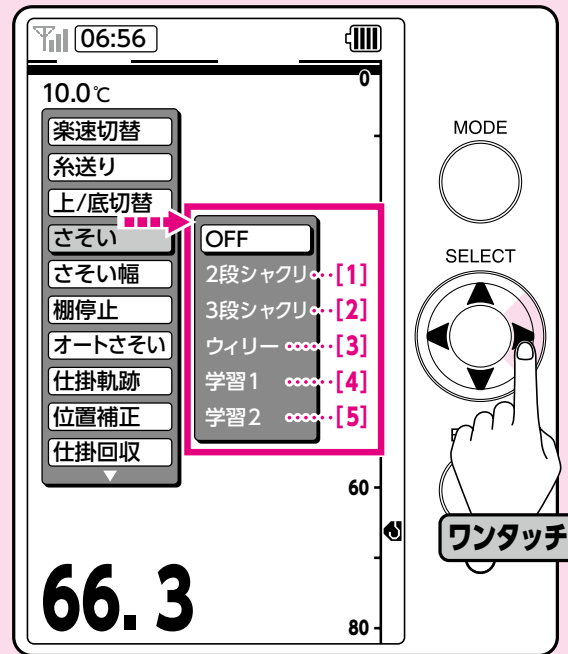
探見丸CV-FISHに内蔵しているさそいパターン、またはお好みのパターンで電動リールがさそい動作を再現します。

一日中シャクリ続けるイカ釣りには特に便利です。※さそいの機能の詳細は対応電動リール取扱説明書をご参照ください。

ご注意：電動リールの仕様により、船べり停止位置付近でのさそい動作ができなくなる場合があります。その場合は、ハンドルで巻上げるか、または電動で巻上げてください。



1 リール設定画面でカーソルを[さそい]に合わせてください。



2 ▶を押すと[さそい]のメニューが表示されます。

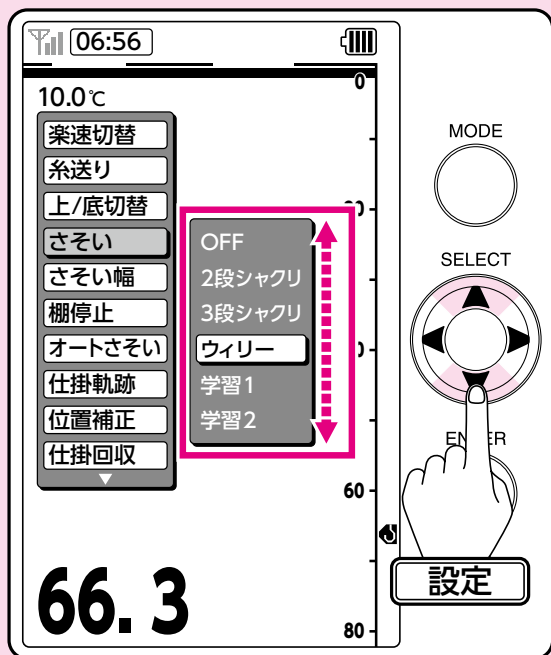
● [さそい]メニューの一覧

- [1]… 2段シャクリ
- [2]… 3段シャクリ
- [3]… ウィリーのさそい
- [4]… お好みのさそいパターン
- [5]… お好みのさそいパターン

※ご注意

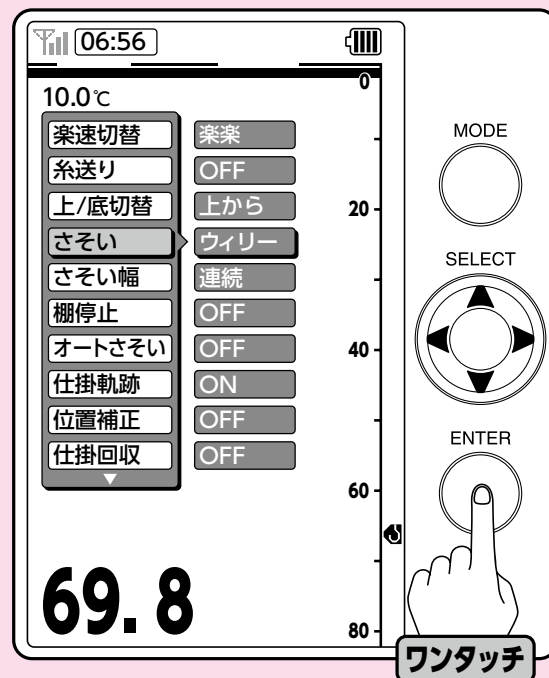
あらかじめ記憶しているさそいのパターンは代表的な例であり、竿の調子・オモリ負荷・水深等、条件によって動作は変化します。実情に合わない場合はお客様オリジナルのパターンを入力の上、再現される事をお勧めします。

[1]～[3]は上記のさそいパターン、[4]と[5]はお好みのさそいパターンとなっています。

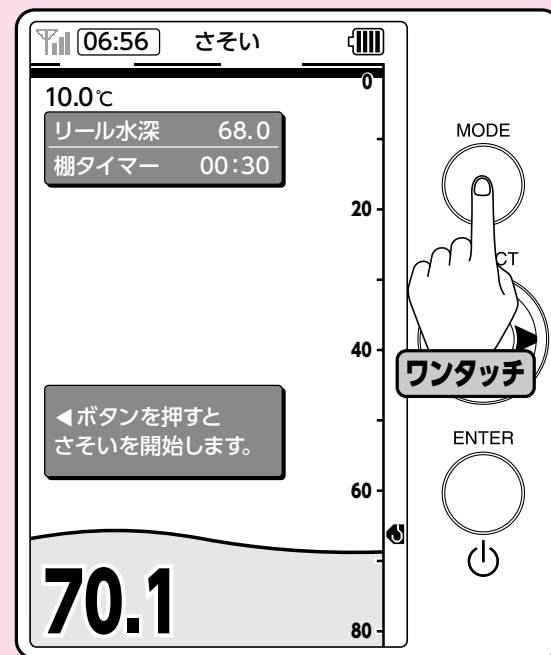


3 ▼と▲でさそいパターンを選択してください。

[学習1]・[学習2]は、出荷時には超スロー巻き上げのデータが入っています。
[学習1]・[学習2]に新しいパターンを入力し直す場合は、P33「さそいの学習」へお進みください。



4 決定ボタンを押すと設定完了です。

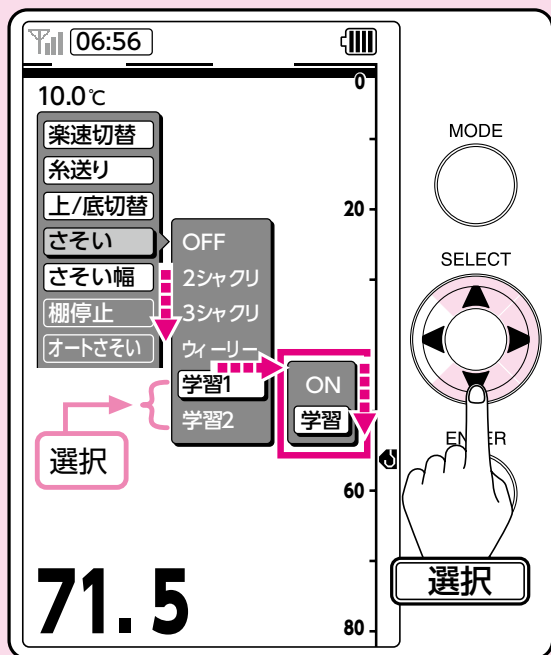


5 画面切換ボタンを押して魚探画面に戻ると表示は図のようになります。これで電動リールにさそいを再現させる準備ができました。

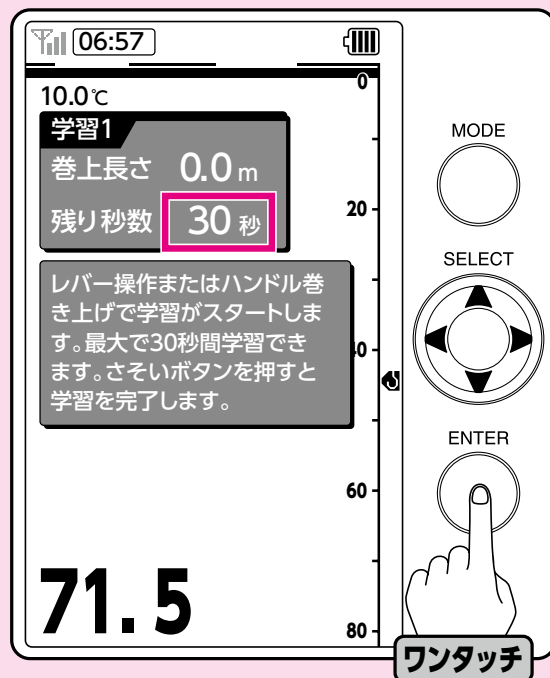
さそいを開始する場合はP37「釣りでさそい機能を使用する」へ進みます。

さそいの学習

あなたのオリジナルのさそいパターンも学習・再現できます。



1 [学習1]・[学習2]のいずれかを選択し、▶を押して[学習]を選択してください。

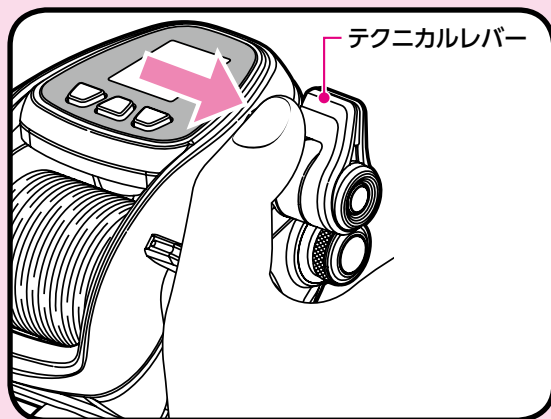


2 決定ボタンを押すと、さそい学習画面になります。さそい学習は最大30秒間記憶させることができます。

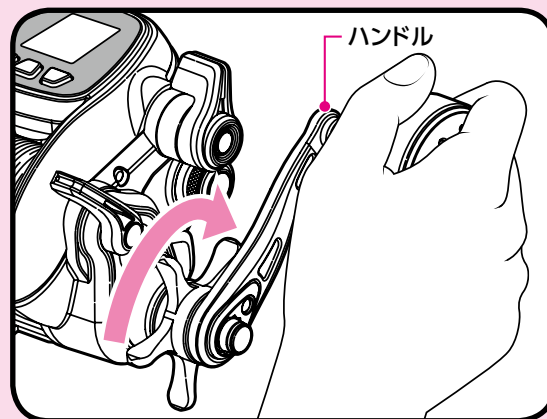
□部分に記憶可能な秒数が表示されます。レバーやハンドルで巻き上げ始めると記憶を開始し、同時に記憶可能な秒数のカウントダウンが始まります



電動リール液晶
(例.フォースマスター3000XP)



- **テクニカルレバーで入力する場合**
記憶させたいタイミングと速度で巻き上げ、その後の静止状態も必要に応じて入力します。



- **ハンドルで入力する場合**
好みの速さでハンドルを回転させ、その後の静止状態も必要に応じて入力します。
ハンドル1回転に2秒以上要する超スローな巻き上げは学習しません。
また、テクニカルレバーの最高速度以上でスプールが回転した場合は、テクニカルレバーの最高速として学習します。

ひとつの動作で巻き上げた距離

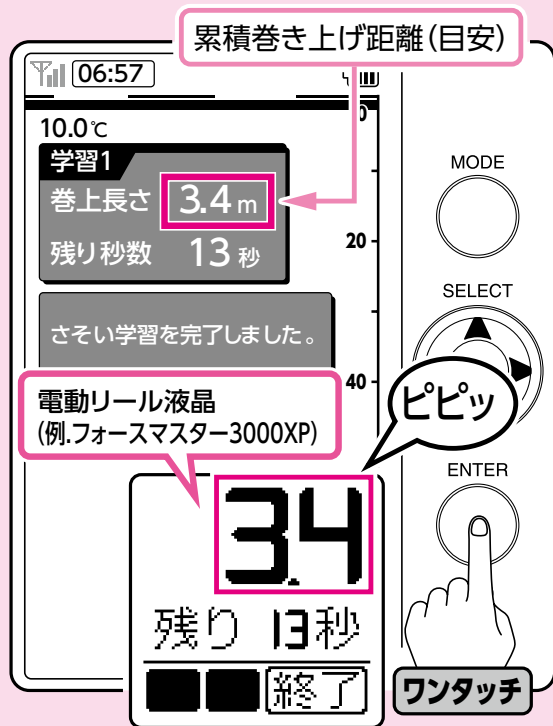
10.0℃
学習1
巻上長さ 1.0 m
残り秒数 28 秒

レバー操作またはハンドル巻き上げで学習がスタートします。最大で30秒間学習できます。さそいボタンを押すと学習を完了します。

電動リールの表示
(例.フォースマスター3000XP)

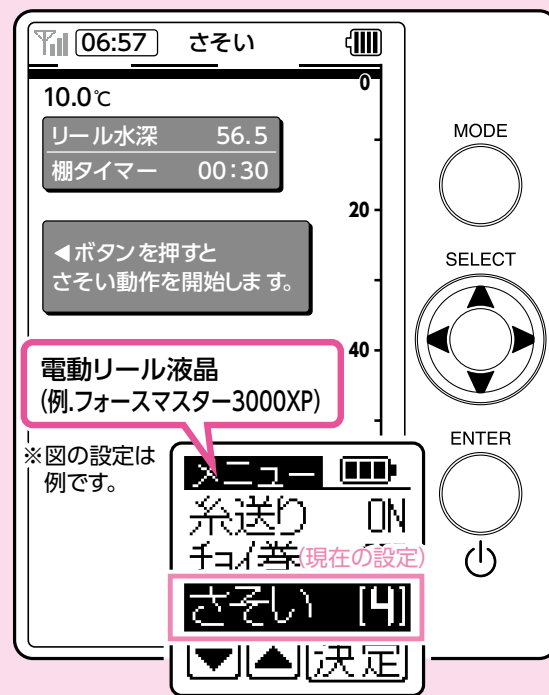
10
残り 28 秒
終了

- 3 テクニカルレバーかハンドル操作でさそい学習を開始し、お好みの巻き上げ時間、停止時間を再現してください。
記憶可能な残り秒数のカウントダウンが開始し、10部分にひとつの動作ごとに巻き上げた糸の長さを表示します。



4 決定ボタンを押すと、さそい学習が完了します。

決定ボタンを押さなかった場合は学習開始から30秒で自動的に終了します。カウントダウンがスタートした時点からのしゃくり、さそいが記憶されます。さそい学習終了時の表示は図のようになります。□部分に目安ですが、累積巻き上げ距離を表示します。



5 2秒後、自動的に魚探画面に戻ります。

図のように表示されます。電動リールはメニュー画面に戻り、現在の設定が表示されます。(図は[4][学習1]を設定した場合の例です。)
 ※新たにさそい学習を入力しますと、前の学習データは消えます。さそい学習を間違えたり、やり直したい場合は、再度リール設定画面から入力していただき、上書きしてください。

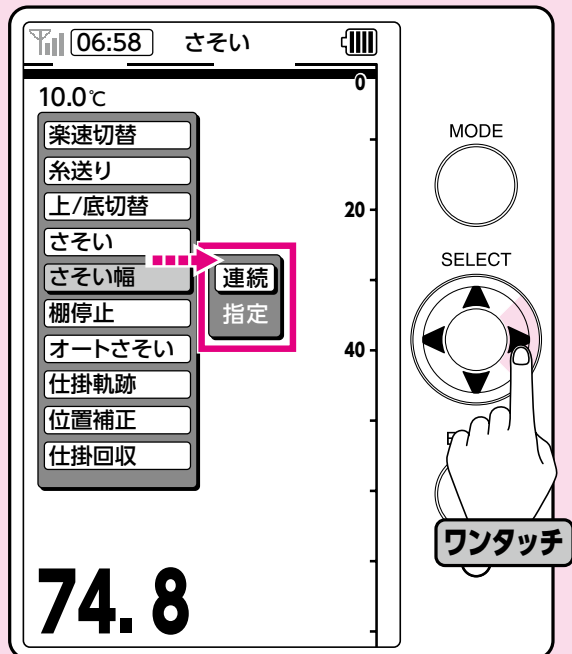
これで電動リールにさそいを再現させる準備ができました。

さそいを開始する場合はP37「釣りでさそい機能を使用する」へ進みます。

⑭ さそい幅の指定

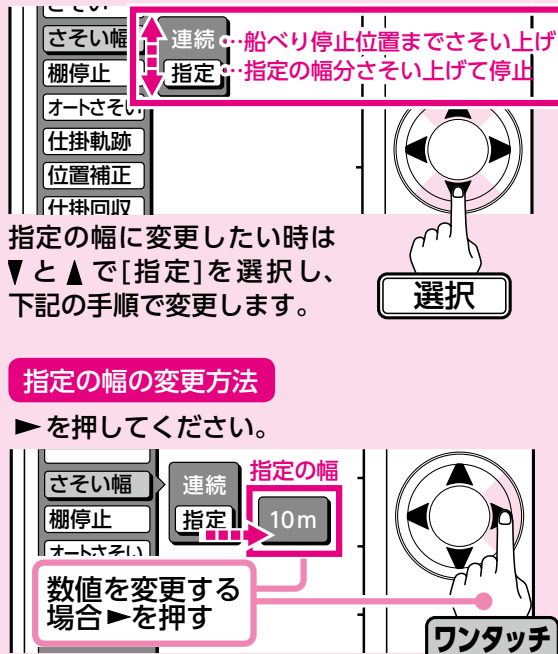
必要に応じて、さそい動作を行う幅の指定ができます。

さそい再現時に指定の幅分さそい上げて停止するよう設定できます。さそい再現を開始する度にさそい幅分さそい上げて停止します。
※さそいの機能の詳細は対応電動リール取扱説明書をご参照ください。

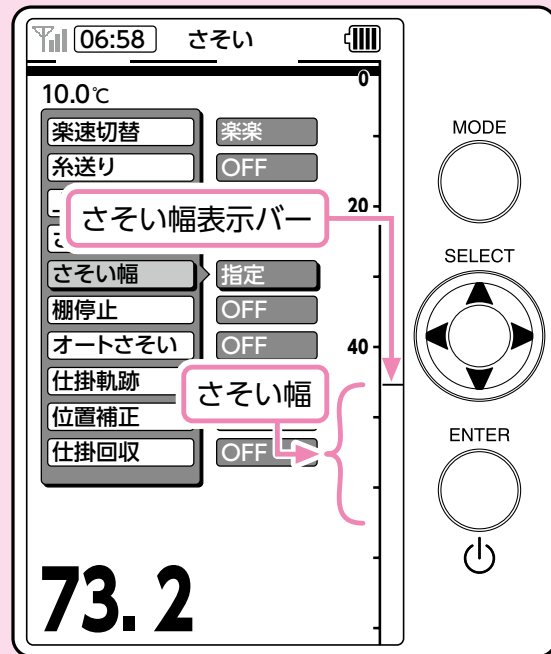
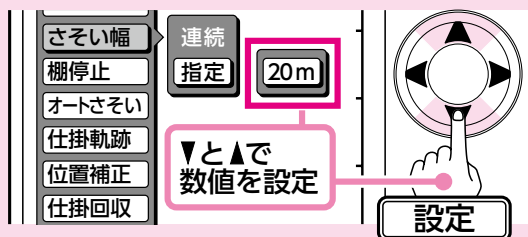


- 1** リール設定画面で[さそい幅]を選択し、
▶で[さそい幅]のメニューを表示させます。
各メニューで下記の設定ができます。

[連続]…船べり停止位置までさそい上げます。
[指定]…指定の幅 (m) 分さそい上げて停止します。



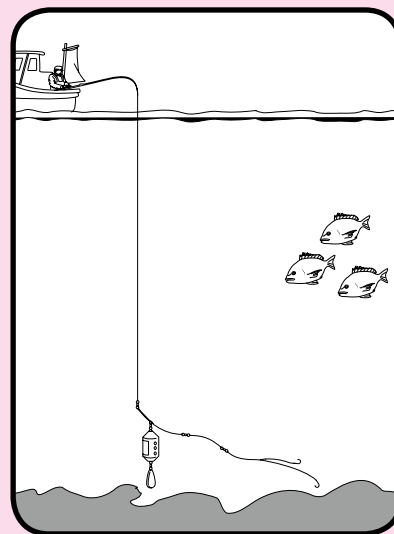
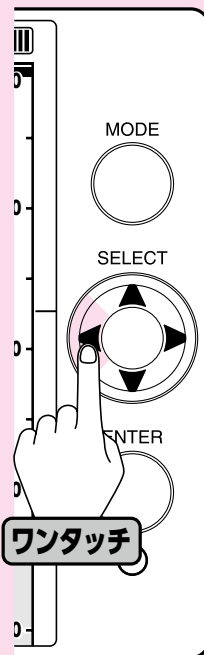
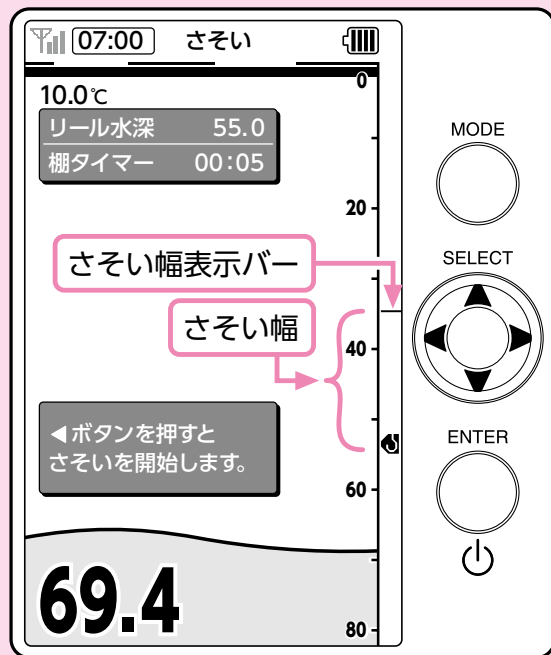
▼と▲を押すと数値が増減しますので、お好みの幅 (m) に設定してください。



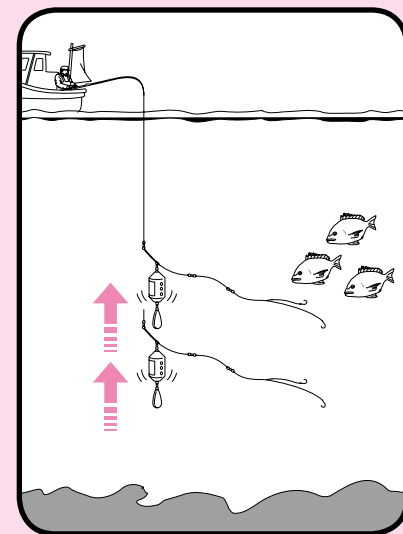
- 2** 決定ボタンを押すと設定完了です
さそい幅の設定が変更されます。
[さそい]→[1]
した状態で[指定]に変更した場合はさそい幅がバーで表示されます。

釣りでさそい機能を使用する

さあ！いよいよ設定したさそいを再現してみましょう。



◀ ボタンON
さそい開始！



さそい動作再現中

1 あらかじめP31～36までの各さそいの設定を行っておきます。

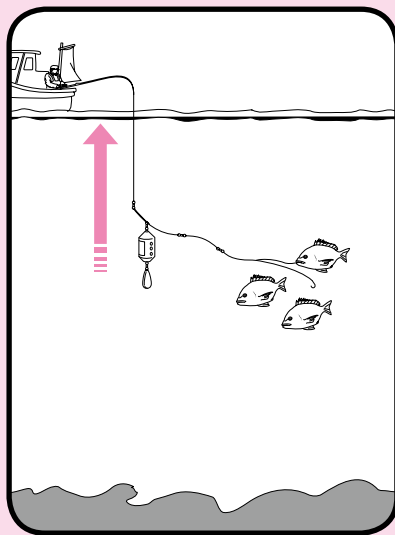
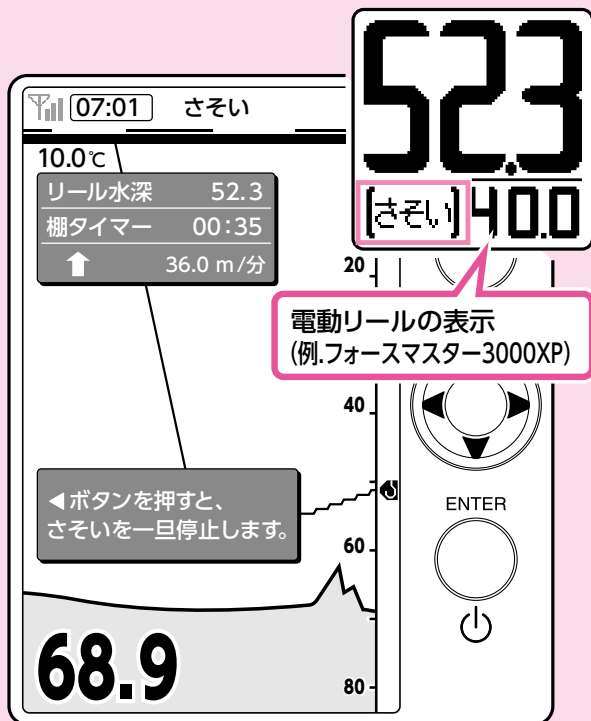
魚探画面になっていない場合は画面切替ボタンで魚探画面に切り換えてください。表示は図のようになっています。(図の場合、さそい幅は20mです。)

2 ◀ ボタンを押すと、記憶したさそいパターンをくり返し行います。

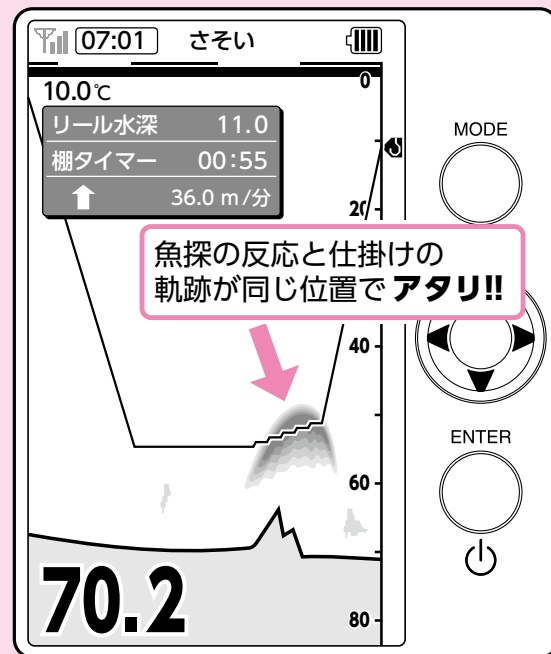
さそい幅を指定している場合は、指定の幅分さそいパターンをくり返して停止します。

さそい動作の途中停止、再スタートも◀ ボタンを押します。

さそい幅指定で途中停止した場合は、停止水深から残りの幅をさそって停止します。



アタリ! 巻き上げ



3 アタリがあればテクニカルレバーで巻き上げます。

さそい動作の途中でレバー作動で巻き上げを始めた場合、さそい動作はキャンセルされ巻き上げ優先となります。

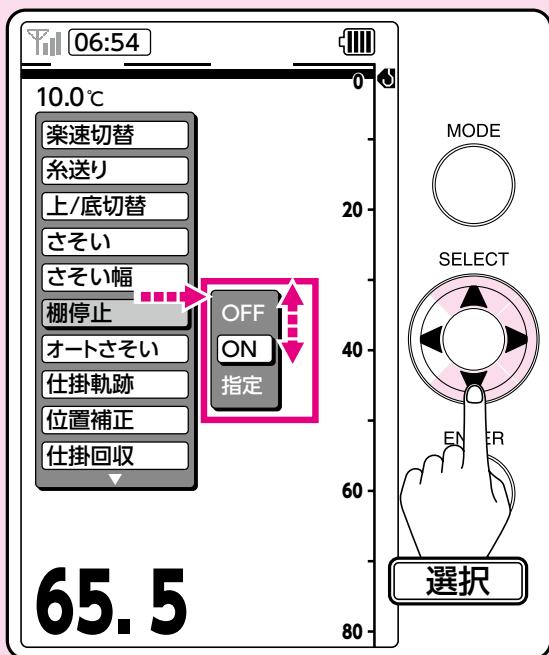
さそい動作中の表示は図のようになります。
 ([仕掛軌跡]をONにした場合、画面のように軌跡のラインが表記されます。)

電動リールには「さそい」が表示されます。

⑮ 棚停止の設定

探見丸CV-FISHから棚停止の設定が可能です。

探見丸CV-FISHからも設定の変更が行えます。棚停止の詳細は対応電動リール取扱説明書をご参照ください。

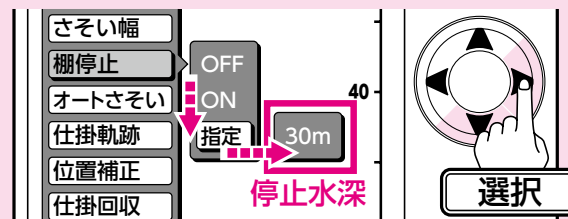


1 リール設定画面で[棚停止]→[ON] または[OFF] を選択してください。

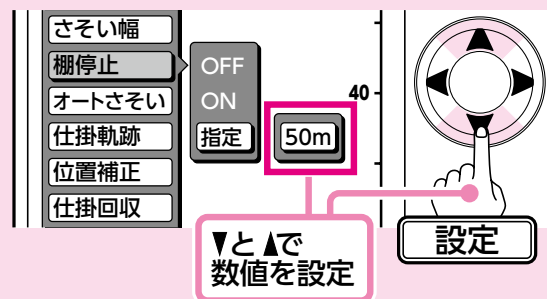
[ON] を選択し、棚停止の水深を変更したい時は右記の手順で行います。

棚停止水深の変更方法

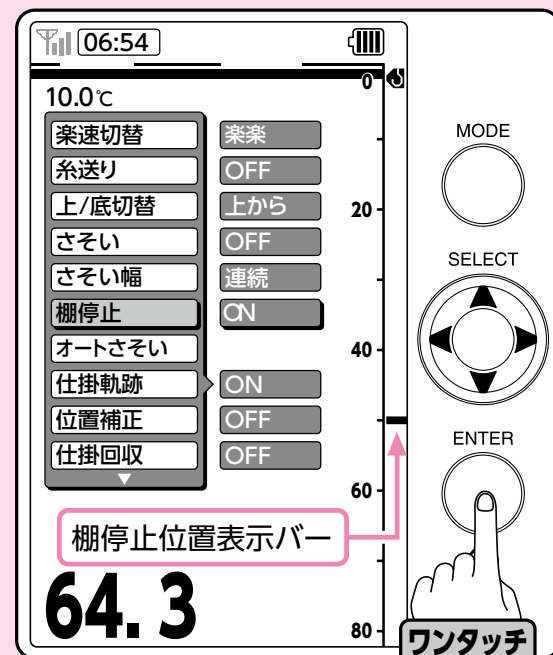
▼で[指定]を選択して、▶を押してください。



▼と▲を押すと数値が増減しますので、お好みの水深(m)に設定してください。



▼と▲で
数値を設定



2 決定ボタンを押すと設定完了です。

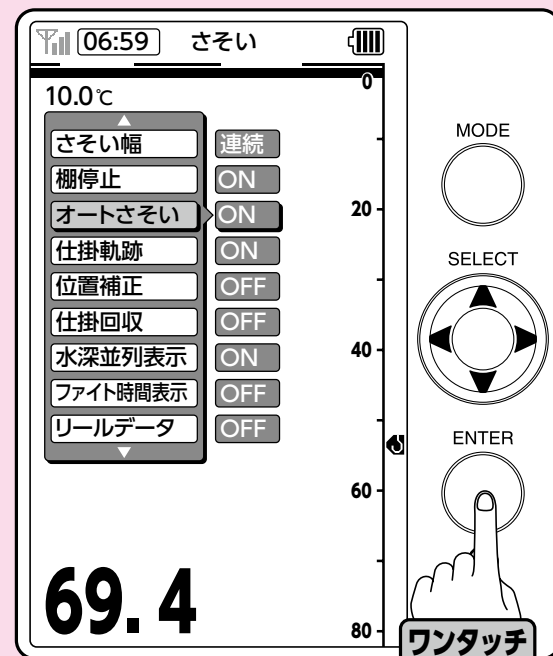
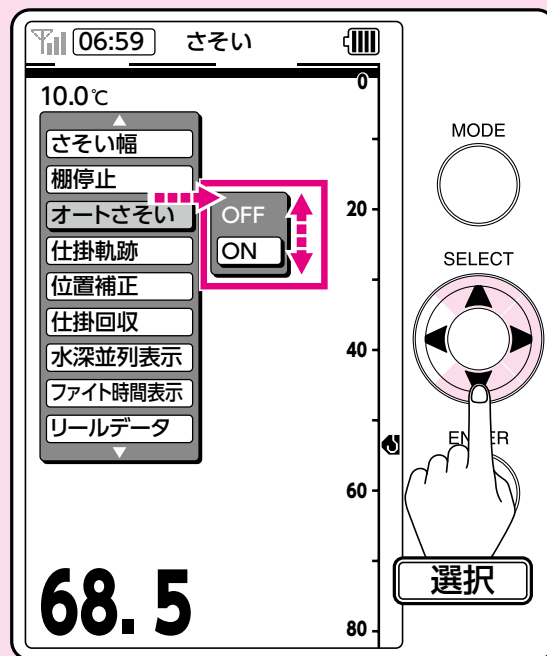
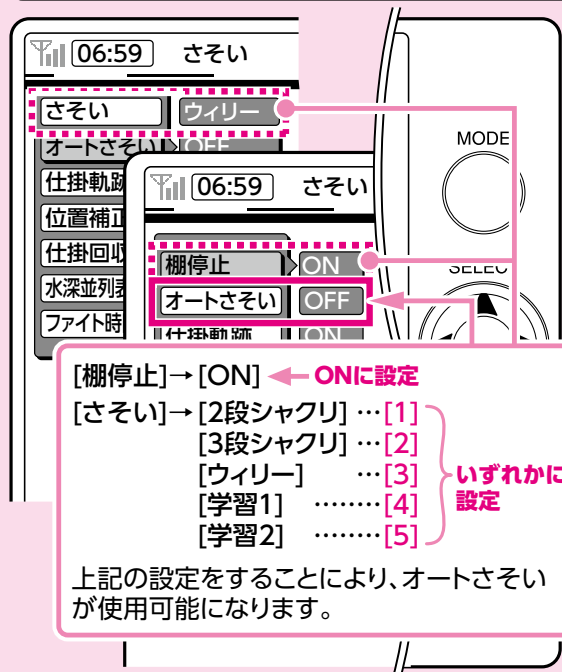
棚停止の設定が変更されます。
[ON]に設定した場合は棚停止位置がバー
で表示されます。

16 オートさそいの設定

棚停止後、自動的にさそい再現を開始させることができます。

この機能は[棚停止]が[ON]で、[さそい]の[1]～[5]のいずれかを選択している場合にのみ有効です。

※オートさそいは自動棚停止機能付きの電動リールのみにご使用いただけます。



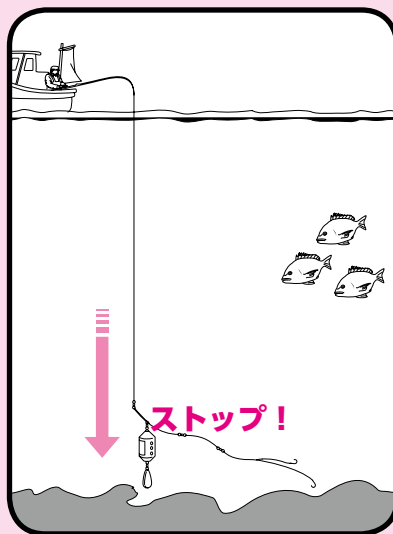
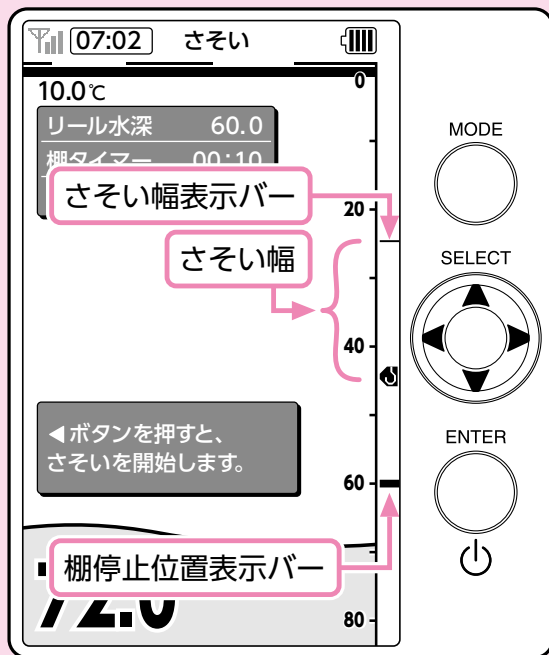
- 1 あらかじめ[棚停止]・[さそい]の設定をしてください。
[棚停止]→[ON]の選択および棚停止水深の設定(P41参照)、[さそい]→[1]～[5]いずれかへの設定(P33～35参照)を行うと、[オートさそい]が有効になり、機能が使用できるようになります。

- 2 リール設定画面で[オートさそい]を選択し、▶で[オートさそい]のメニューを表示させます。
▼と▲で[ON]または[OFF]を選択してください。

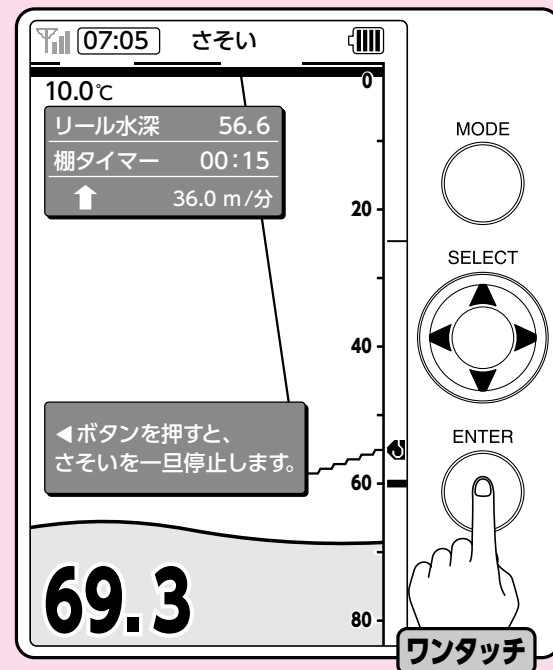
- 3 アタリがあればテクニカルレバーで巻き上げます。
さそい動作の途中でレバー作動で巻上げを始めた場合、さそい動作はキャンセルされ巻き上げ優先となります。

釣りでさそい機能を使用する（棚停止の利用）

棚停止を利用してさそい動作を行ってみましょう。



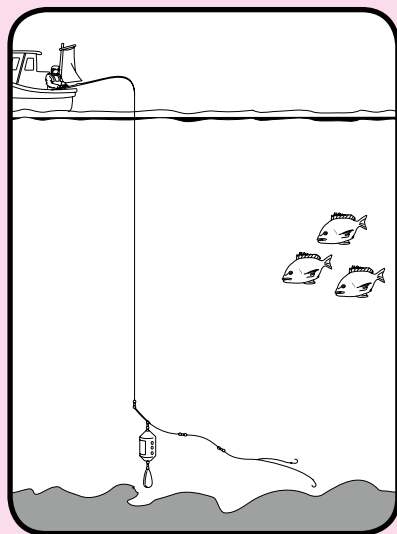
棚停止



1 あらかじめ[棚停止]→[ON]の選択および棚停止水深の設定（P39参照）、P31～36までの各さそいの設定を行っておきます。魚探画面になっていない場合は画面切換ボタンで魚探画面に切り換えてください。表示は図のようになっています。（図の場合、さそい幅は20mです。）

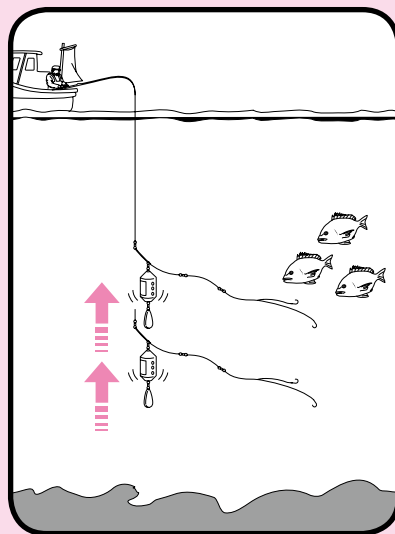
2 クラッチを切ってシカケを投入します。シカケがメモ水深（棚停止水深）に来るとシカケが自動停止します。

3 [オートさそい]をONに設定している場合は棚停止の2秒後、自動的にさそい動作の再現を開始します。そうでない場合は決定ボタンを押すと、記憶したさそいパターンをくり返し行います。
（[仕掛軌跡]をONにした場合、画面のように軌跡のラインが表記されます。）



◀ボタンON
さそい開始!

[オートさそい]がONならば
自動でさそい開始!

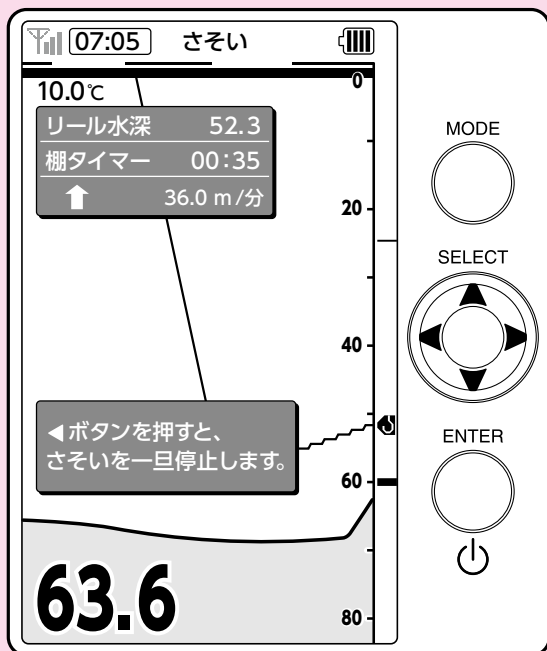


さそい動作再現中

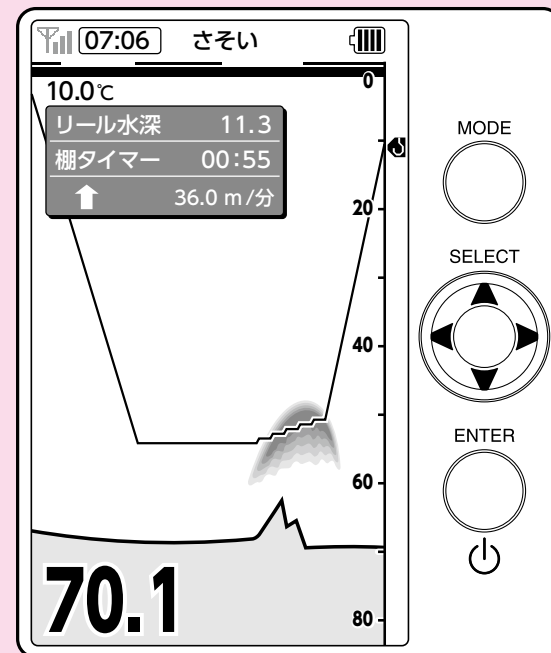
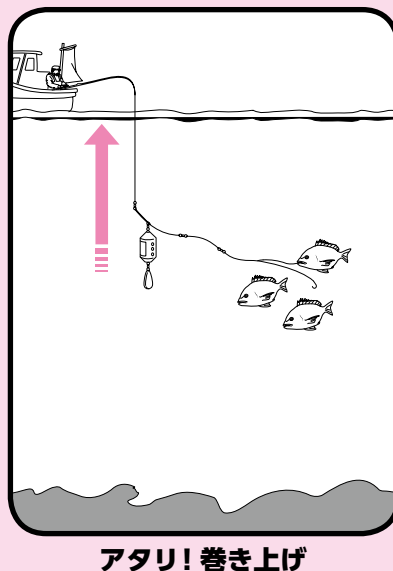
さそい幅を指定している場合は、指定の幅分さそいパターンをくり返して停止します。

さそい動作の途中停止、再スタートも
◀ボタンを押します。

さそい幅指定で途中停止した場合は、停止水深から残りの幅をさそって停止します。



さそい動作中の表示は図のようになります。
電動リールには「さそい」が表示されます。



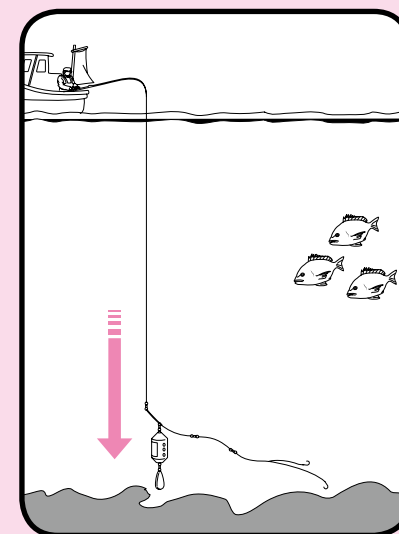
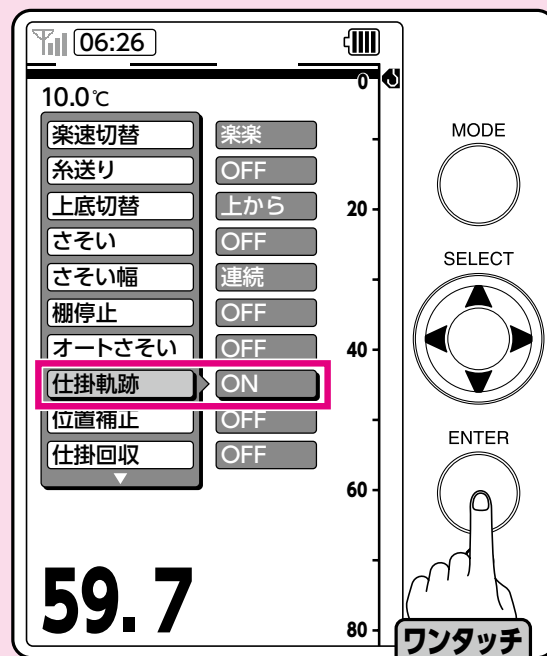
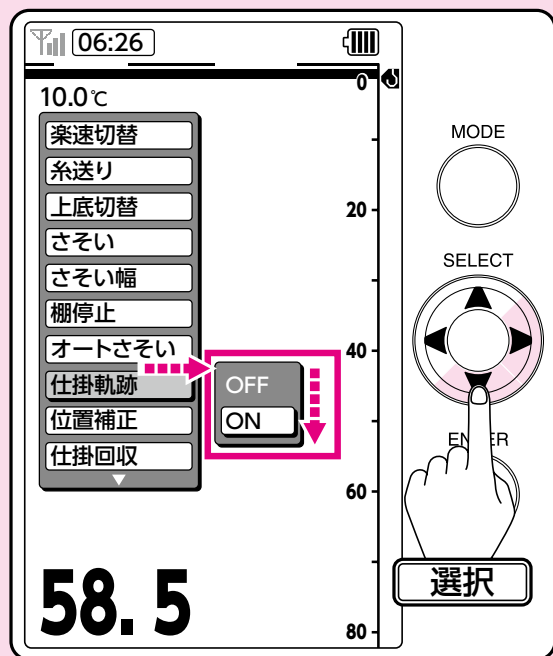
4 アタリがあればテクニカルレバーで巻き上げます。

さそい動作の途中でレバー作動で巻き上げを始めた場合、さそい動作はキャンセルされ巻き上げ優先となります。

17 仕掛軌跡

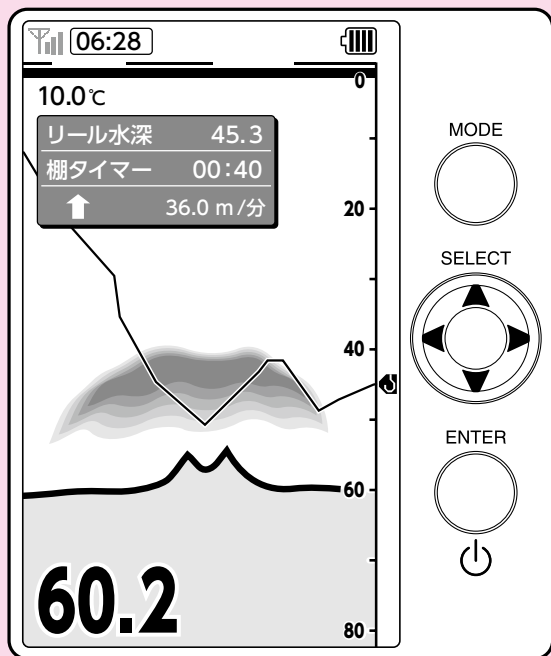
投入した仕掛の軌跡を表示することができます。

底の形状と仕掛位置の相関がたどれますので、どの時点でアタリがあったかなど簡単に把握でき、さそいの目安や次回投入時の参考、コマセのタイミング等に便利です。(※先に仕掛位置補正を行うと、より正確な表示となります。)

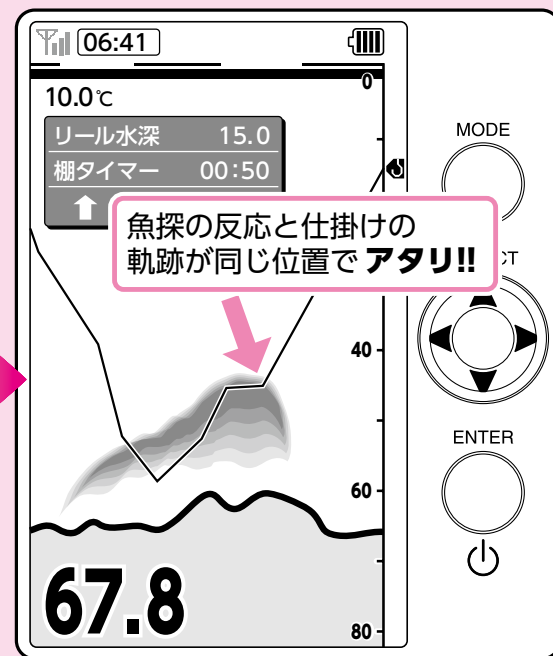
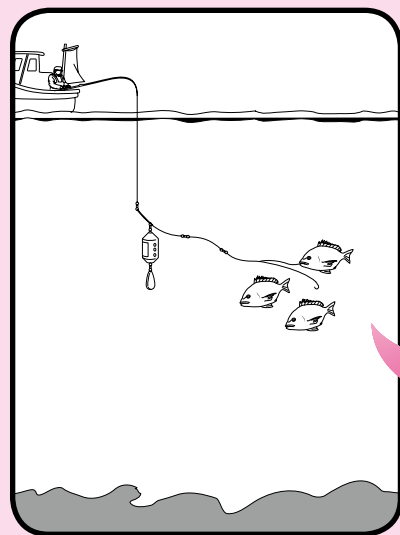


- 1 リール設定画面で[仕掛軌跡]→[ON]を選択してください。
- 2 決定ボタンを押すと設定完了です。仕掛軌跡がONになります。
- 3 画面切換ボタンを押して魚探画面に戻り、仕掛を投入します。

ご注意：仕掛軌跡はリール水深をトレースしています。従いまして糸巻学習、0セットを正確に行っておりませんと、正しい表示を行えませんのでご注意ください。



- 4 仕掛けマークの位置をトレースして、魚探画面上に軌跡が表示されます。

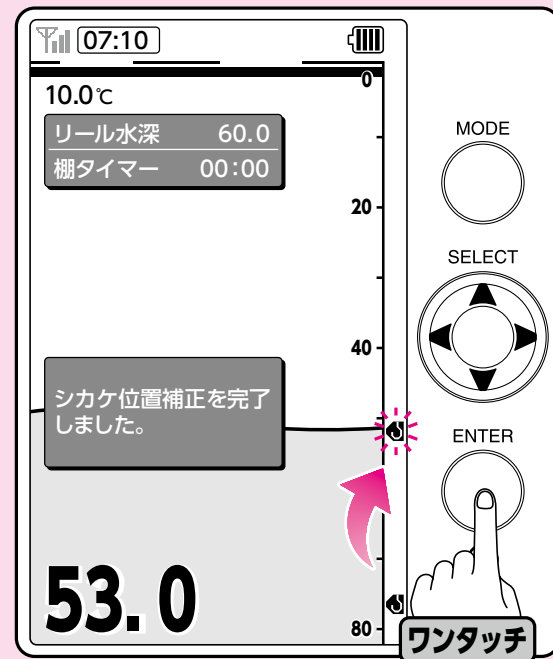
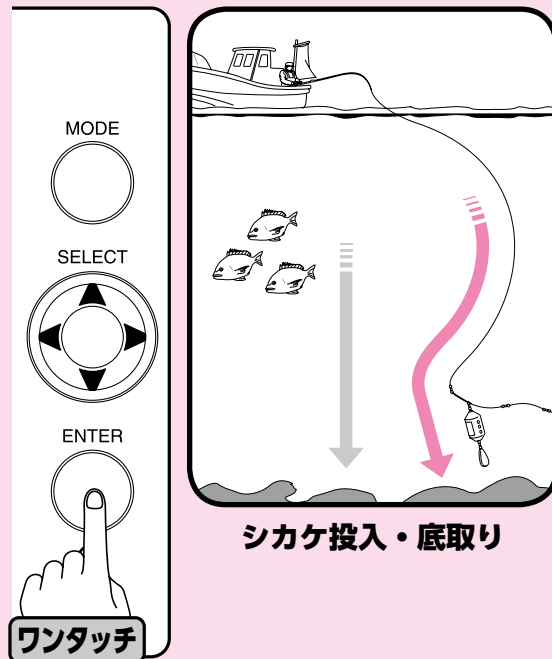
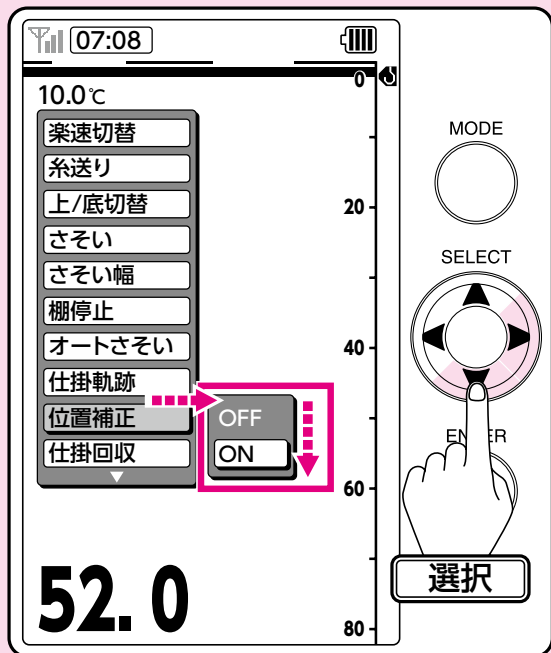


- 5 アタリがあった状況が一目で判ります。さそいの目安や次回投入時の参考、コマセのタイミング等、応用範囲が広がります。

18 位置補正

シカケの水深と魚探画面上的の位置を簡易的に同調することができます。

従来のカウンター付きリールが表示する水深は、あくまで巻かれていた糸の放出量であり潮の流れなどで表示水深とシカケの位置にはズレが生じていました。探見丸システムではワンタッチでズレを補正。以後、魚探画面上的のシカケマークが実際の位置を表示してくれます。

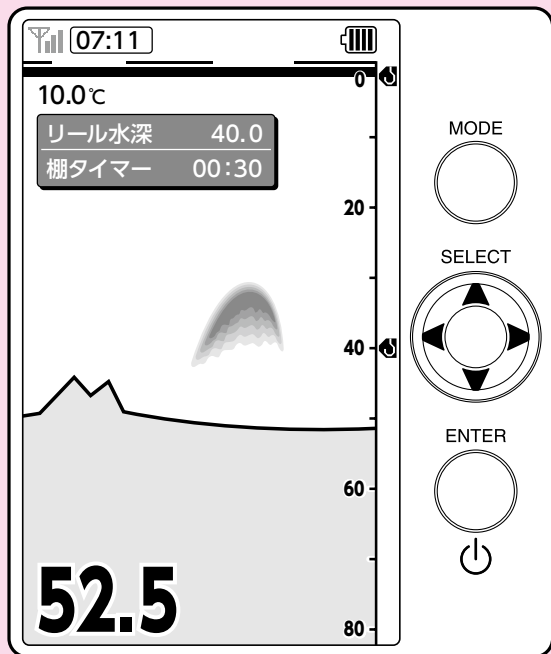


1 リール設定画面で[位置補正]→[ON]を選択し、決定ボタンを押してください。

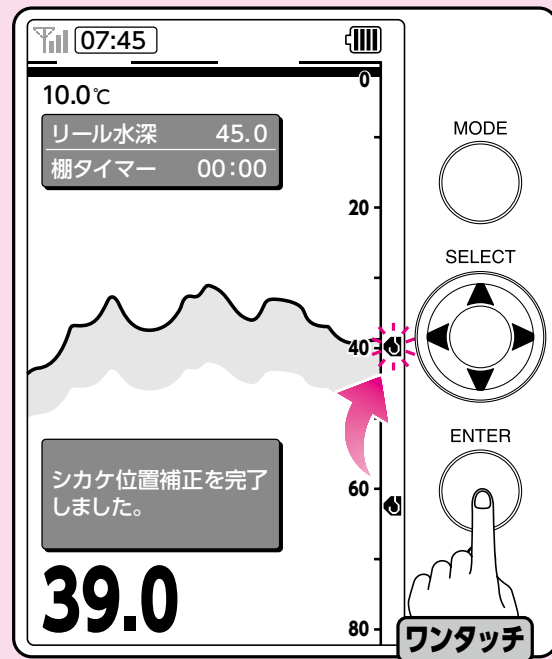
2 画面切換ボタンを押して魚探画面に戻り、シカケを投入し、いったん底まで降ろします。

3 底取りできたら、決定ボタンを押します。
シカケマークが底の位置に表示されます。

底取り後、決定ボタンを押せばシカケの補正をします。



4 以後、希望の水深にシカケマークを合わせれば、シカケは実際その位置に来ていることになります。

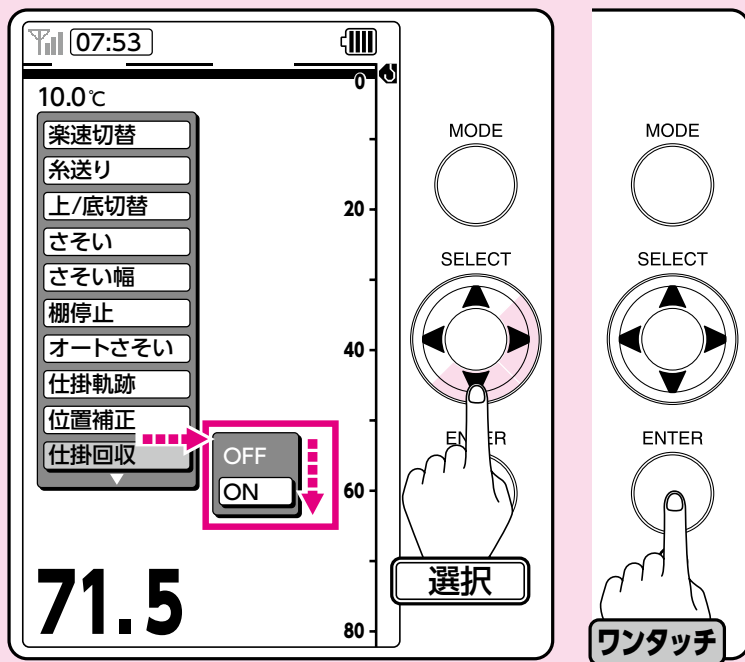


5 釣場を移動したり、画面とマークが一致しなくなってきた場合には、再度底取りをしてから、決定ボタンで再確定してください。

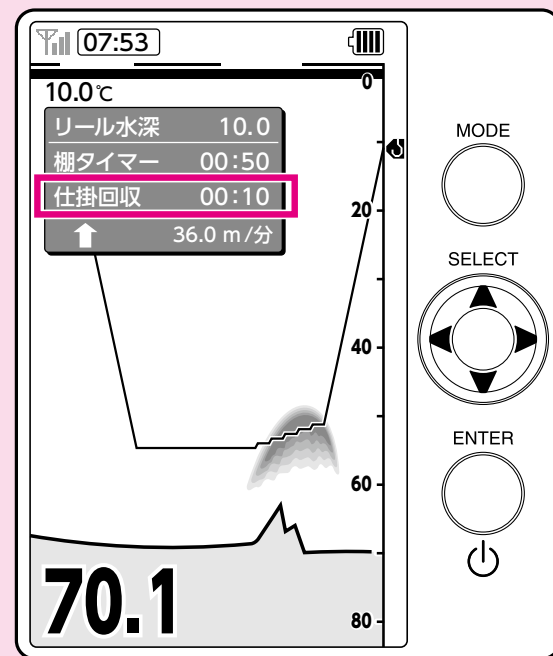
位置補正が正しく行われていない場合、シカケマークが画面から消える事があります。その際にはシカケを再度投入し、底取りを行った上で再度位置補正を行ってください。

①9 仕掛回収

レバー回収時に、仕掛が船べりに回収されるまでにかかる残り時間を魚探画面に表示します。



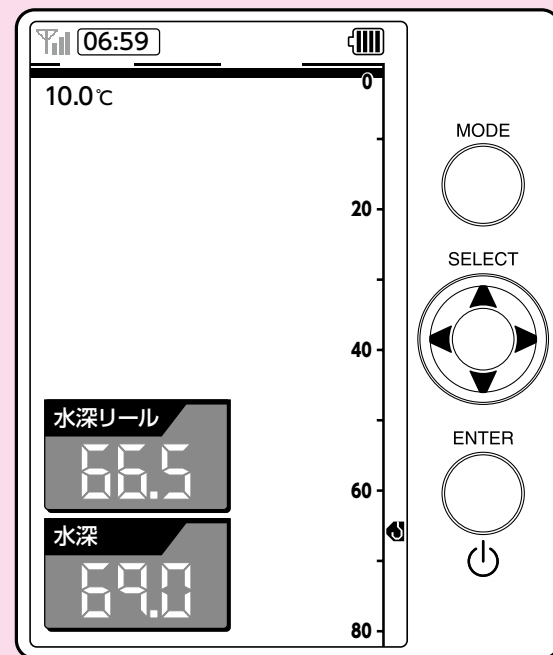
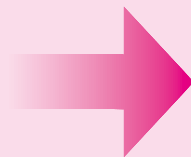
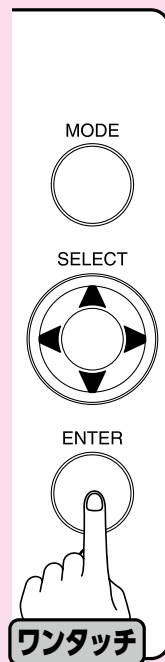
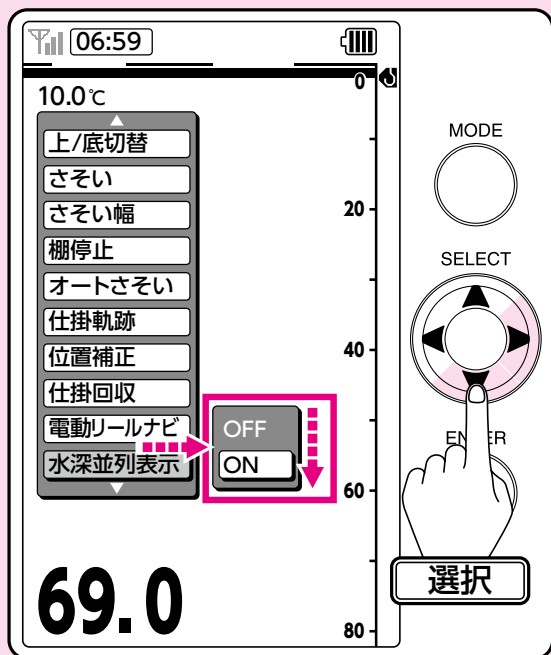
- 1 リール設定画面で[仕掛回収]→[ON]を選択し、決定ボタンを押してください。



- 2 レバー回収の際に仕掛が水中から船べりに回収されるまでの残り時間を魚探画面に表示します。(レバー ON にしてから約3秒で表示します。)

20 水深並列表示

探見丸親機と電動リールから送られてくる水深を並列に表示します。

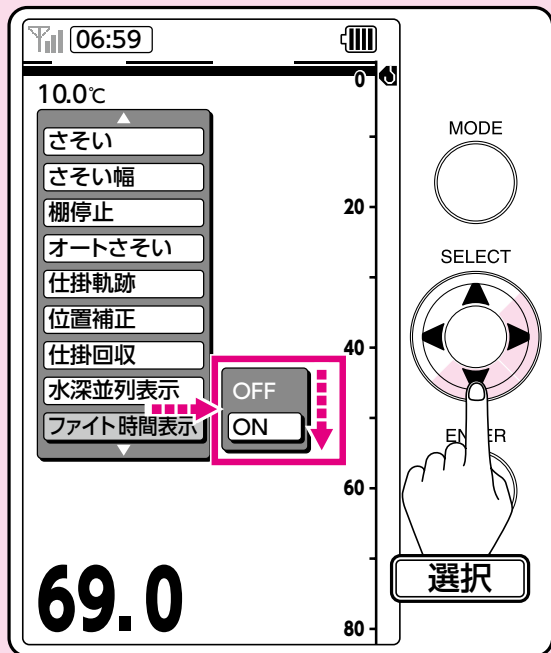


- 1 リール設定画面で[水深並列表示]を選択して、▶を押してください。
▼と▲で[ON]を選択し、決定ボタンを押してください。

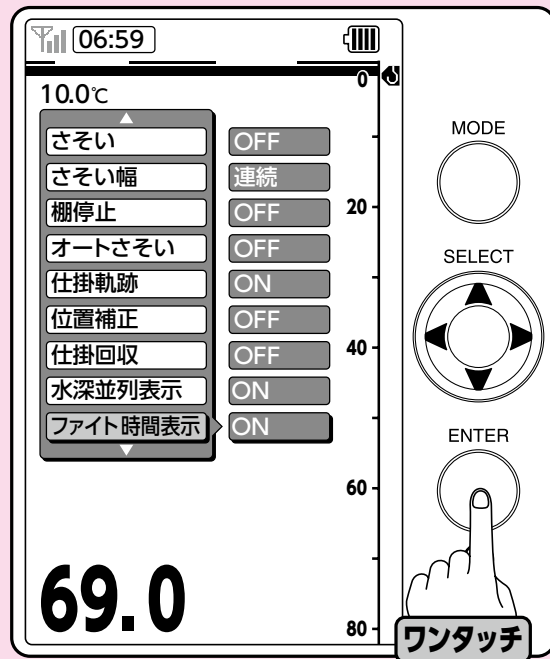
- 2 画面左下に探見丸親機と電動リールから送られてくる水深が並列して表示されます。

②1 ファイト時間

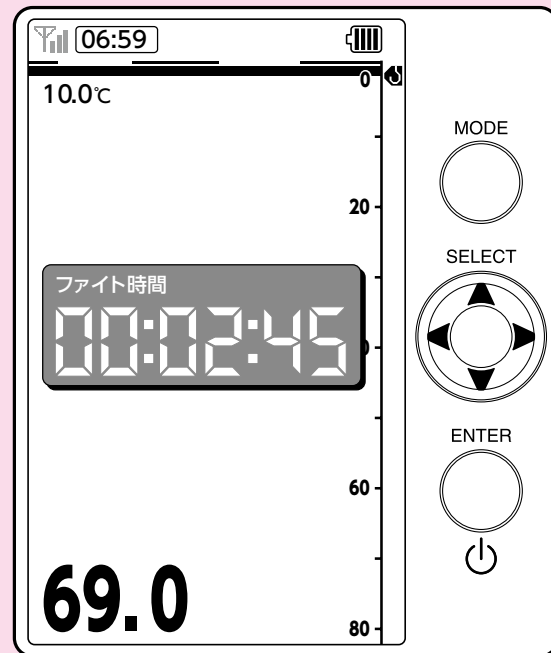
ファイト時間を表示します。



- 1** リール設定画面で[ファイト時間表示]を選択して、▶を押してください。
▼と▲で[ON]を選択してください。



- 2** 決定ボタンを押すと設定完了です。

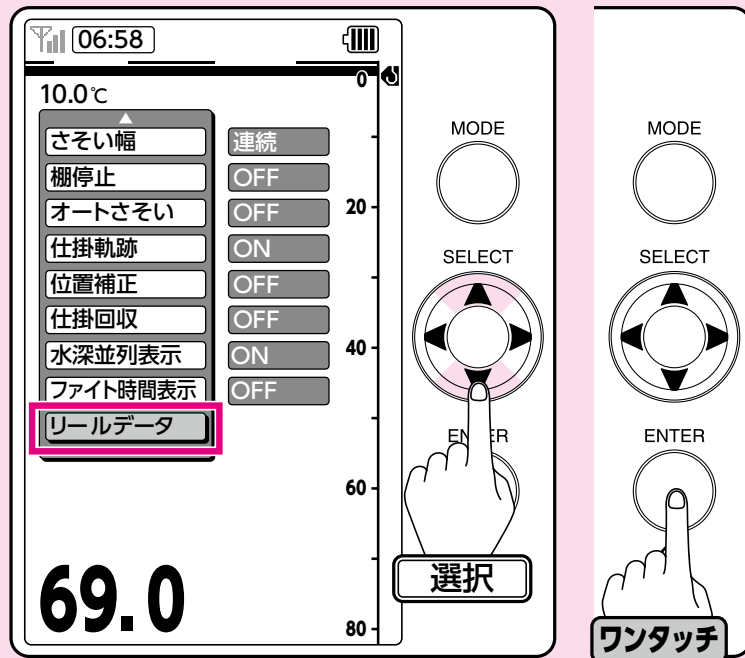


- 3** 電動で巻き始めた時から、船縁停止までにかかった時間を表示します。

※ファイト時間は、表示後3m系を出すか、画面切替ボタンを押すと自動的に消えます。

② リールデータの表示

リールデータ(巻上距離・使用時間・ブレーカー作動回数)の確認ができます。



1 リール設定画面で[リールデータ]を選択し、決定ボタンを押してください。



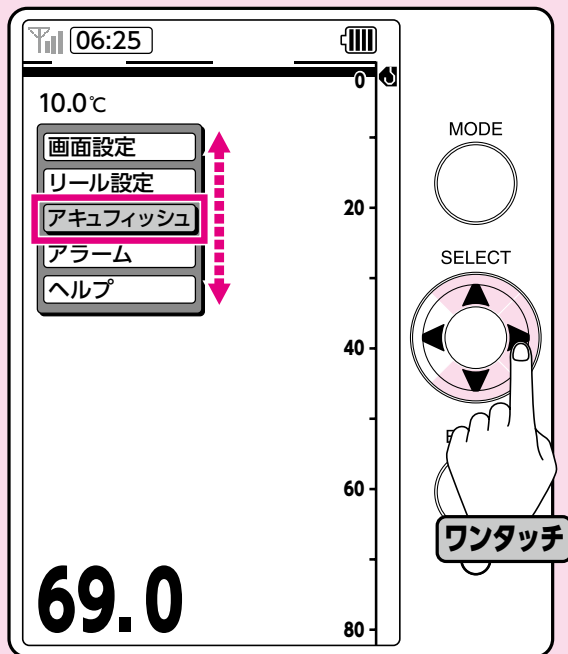
2 図のように表示されます。

アキュフィッシュの設定

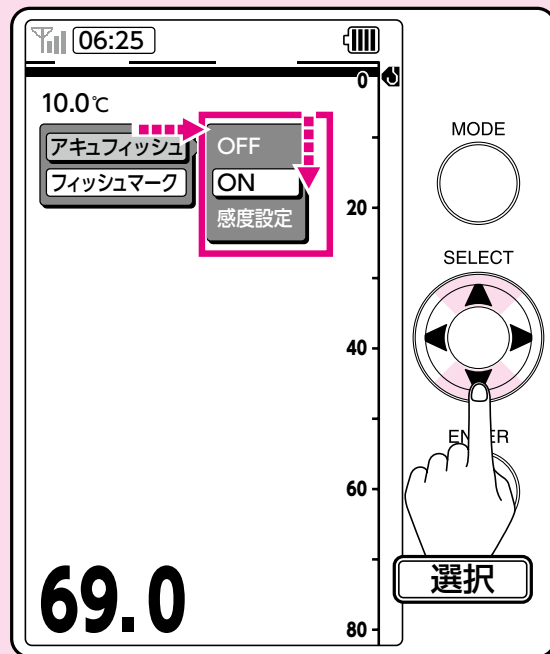
●アキュフィッシュ機能を有効にする。

単体魚をフィッシュマークで表示し、単体魚のサイズ (単位 : cm) でも表示することができます。

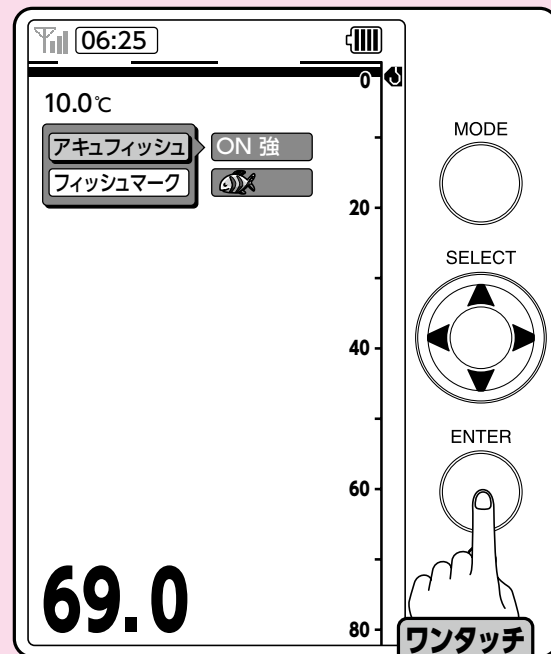
※初期設定は、ONになっています。



1 設定画面で[アキュフィッシュ]を選択して、▶ ボタンを押してください。



2 アキュフィッシュ設定画面が表示されます。[アキュフィッシュ]→[ON]を選択してください。



3 決定ボタンを押すと設定完了です。

● 感度設定

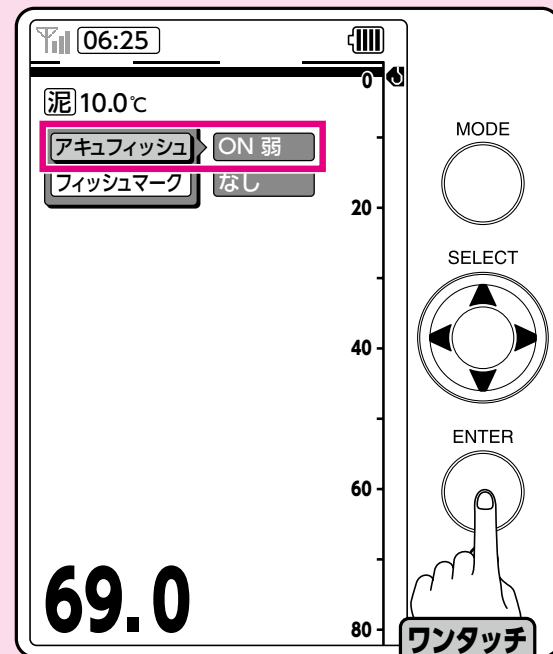
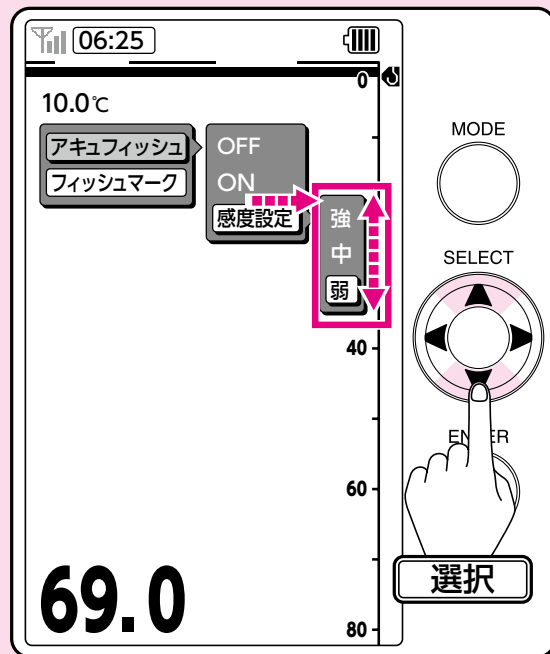
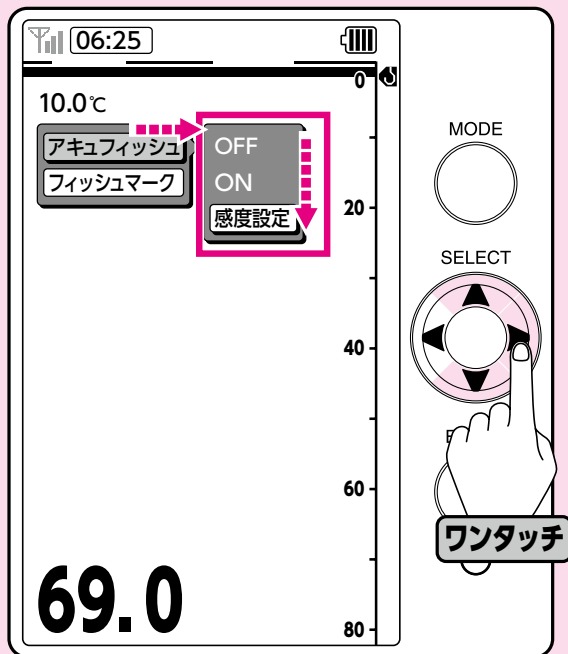
フィッシュマークが重なっている場合、より見やすく調整できます。

設定について

「強」… 全てのフィッシュマークを表示します。

「中」… 重なったフィッシュマークを1/2の数で表示します。

「弱」… 重なったフィッシュマークを1/3の数で表示します。



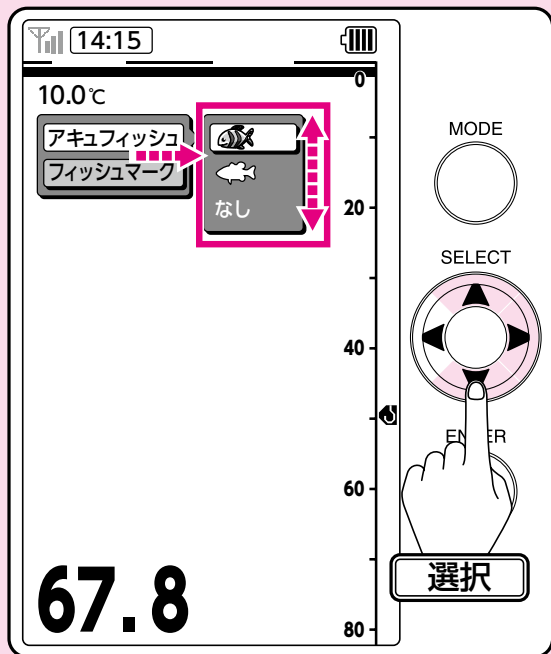
1 アクアフィッシュ設定画面で[アクアフィッシュ]→[感度設定]を選択して、
▶ ボタンを押してください。
[感度設定]のメニューが表示されます。

2 [感度設定]のメニューから「強」「中」「弱」のいずれかを選択してください。

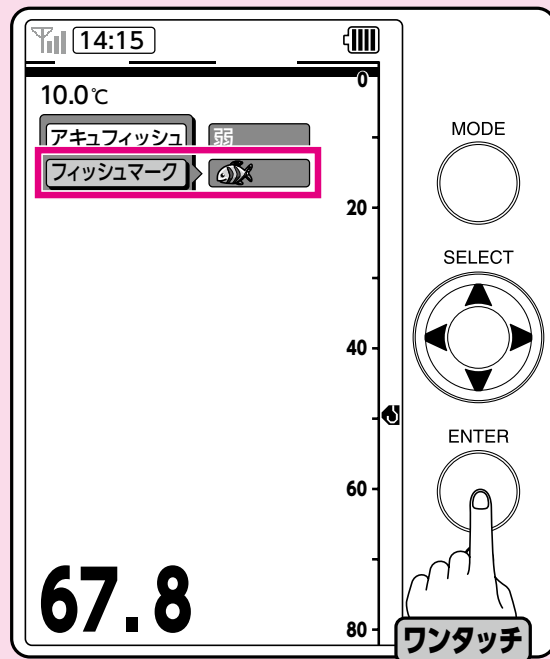
3 決定ボタンを押すと設定完了です。

● フィッシュマークの表示

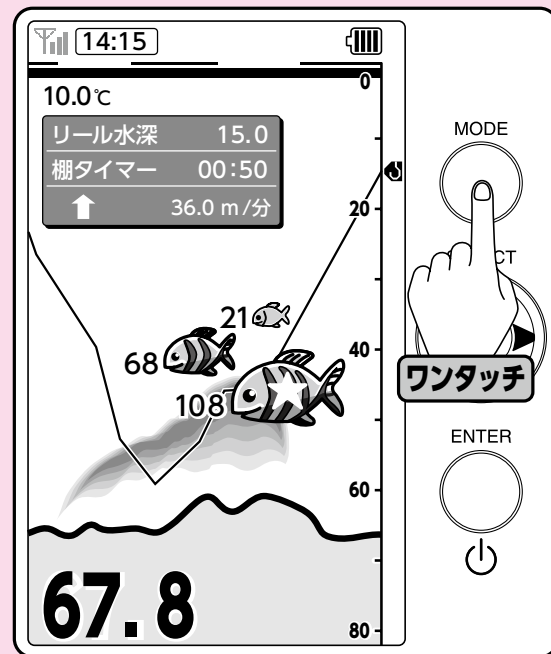
さらに見やすくするために、表示された反応を”フィッシュマーク”で表現します。



1 アキュフィッシュ設定画面で[フィッシュマーク]を選択して、▶ ボタンを押すとフィッシュマークのメニューが表示されます。メニューから▼と▲ボタンで[魚] [魚] [なし]のいずれかを選択してください。



2 決定ボタンを押すと設定完了です。



3 画面切換ボタンで魚探画面に戻ると、フィッシュマークが表示されます。

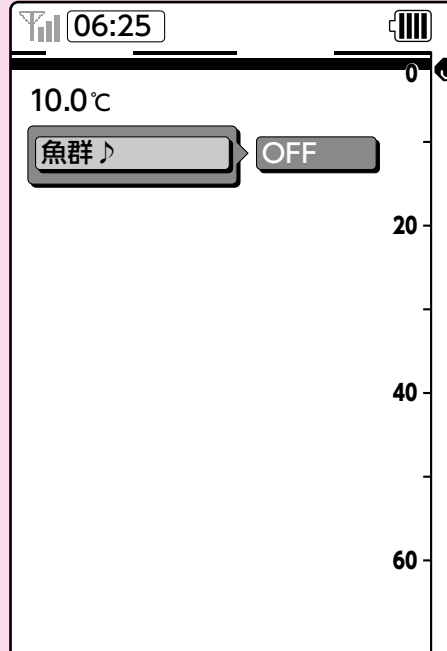
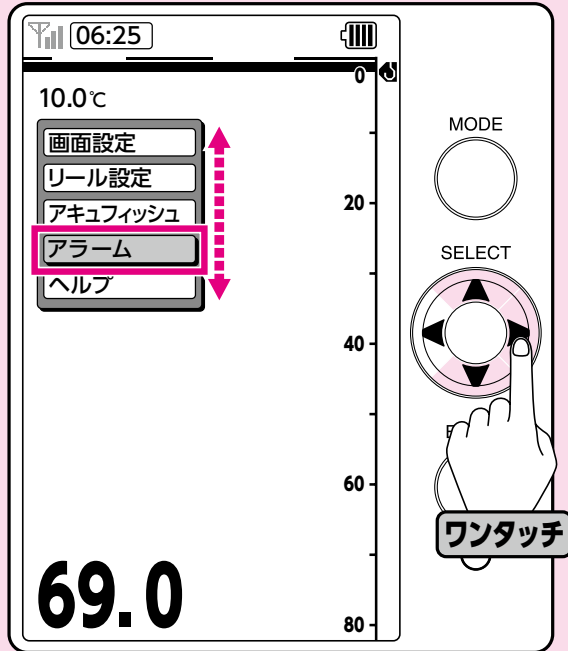
ご注意：探見丸CV-FISHでアキュフィッシュ機能をオンにしているにも関わらず、アキュフィッシュ(フィッシュマーク)が表示されない場合があります。2つの原因が考えられます。

- ① 電波状況により、探見丸CV-FISHにアキュフィッシュ(フィッシュマーク)が表示されない場合があります。
- ② 探見丸親機のアキュフィッシュ機能がオフにされている場合があります。
※本船の探見丸親機の設定をご確認ください。

アラームの設定

アラームのON/OFFを設定することができます。

④ アラーム設定画面



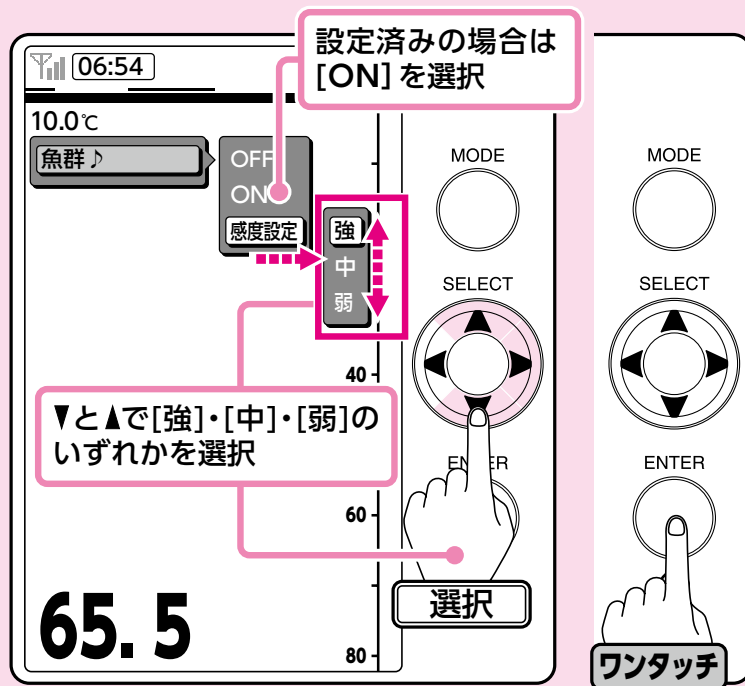
- ① [魚群 ♪]… (次ページへ)
魚群を知らせるアラーム。
感度を[強]・[中]・[弱]に設定できます。

設定画面で[アラーム]を選択して、
▶ ボタンを押すと、アラーム設定画面が表示されます。

アラームの設定・魚群♪

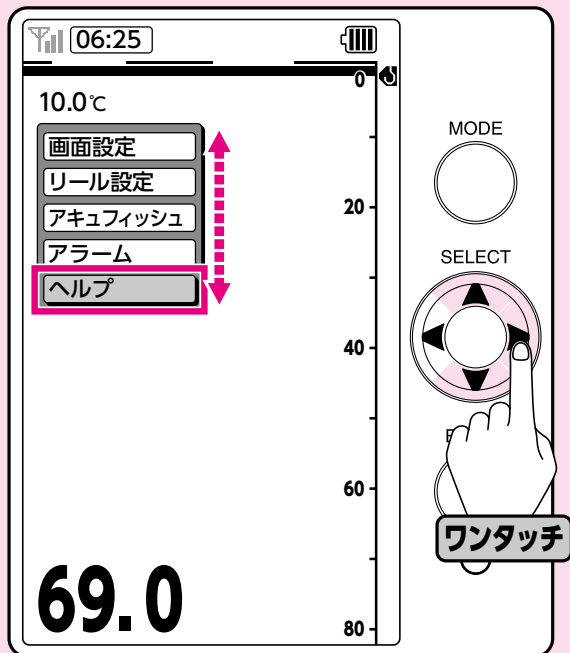
魚群アラーム

魚群を知らせるアラームの感度を[強]・[中]・[弱]に設定できます。

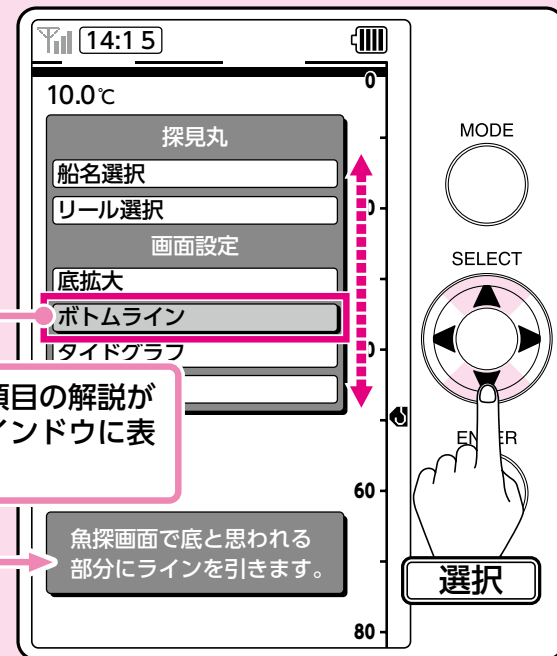
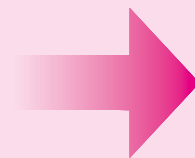


アラーム設定画面から[魚群♪]→[感度設定]を選択して、▶ ボタンを押すと、感度設定のメニューが表示されます。メニューから▼と▲で[強]・[中]・[弱]のいずれかを選択して、決定ボタンを押すと設定完了です。

調べたい項目の解説をご覧いただけます。



- 1 設定画面で[ヘルプ]を選択して、
▶ ボタンもしくは決定ボタンを押してください。



選択された項目の解説が
補助説明ウインドウに表
示されます。

魚探画面で底と思われる
部分にラインを引きます。

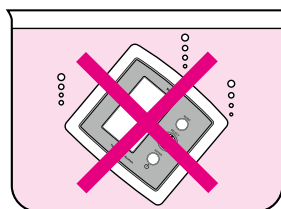
- 2 ▼と▲で項目を選択すると、補助説明
ウインドウに選択された項目の解説
が表示されます。

お取り扱い上の注意

探見丸は、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

1 探見丸のお手入れ方法

1. 水道水を探見丸にかけながら柔らかい布か、スポンジで汚れを落とします。
※絶対に水中に浸けて洗わないでください。また、液晶面などを硬いものでこすると傷がつきます。
2. 影干してよく乾燥させてください。



絶対に水中に浸けて洗わないでください

- 探見丸は絶対に分解しないでください。内部には電子部品が入っていますので故障の原因となります。
- 高温、高湿の状態です長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

⚠ 注意

- 探見丸のお手入れは、水道水をかけながら、柔らかい布かスポンジで汚れを落として下さい。
又、絶対に水中に浸けて洗わないで下さい。
くれぐれも水道水以外での洗浄はしないで下さい。
- 電源コードを抜いた状態で、電源ソケット部分に水圧を掛けて洗浄しないで下さい。浸水する可能性があります。

2 ご使用上の注意

1. 防水

探見丸の防水規格は JISC 0920 5級 防噴流形 (IEC:IPX5) 「いかなる方向からの直接噴流によっても有害な影響を受けない」ですが、水中への浸漬に対する保護機能はありませんのでご注意ください。

2. 落下

落下させますと、故障する場合があります。落下させないでください。

3. 衝撃

錘や仕掛けを当てると破損する場合があります。錘や仕掛けなどは当てないようにしてください。

4. 荷重

液晶面に力を加えると、防水機能が低下し、故障の原因となることがあります。液晶面には力を加えないでください。

- 探見丸システムでは、親機の探知性能以上の水深の場合や、泡切れで親機が海底水深をキャッチできない場合があります。また、大魚群を海底と誤ってしまう場合があります。この時には水深情報を利用する各機能が使えないこととなりますのでご注意ください。
- 探見丸では魚探映像の感度の変更は行えません。
- 探見丸は無線電波を受けているため、金属の箱などに入れると受信できなくなりますのでご注意ください。
探見丸は電波法に基づき開発された製品です。
- 探見丸はていねいに扱ってください。移動時には付属のカバーをかぶせて、特に投げ投げやバッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意下さい。
- 探見丸後部及び通信ケーブル/電源コードに衝撃を与えないよう、また、コードを折り曲げないようにご注意下さい。特にコードを探見丸と船ベリの間にはさまないようにご注意下さい。
- LCDの表面は傷が付きやすいので、画面をふくときは十分に注意してください。
- 偏光ガラスの種類によって液晶画面が見にくくなる場合があります。

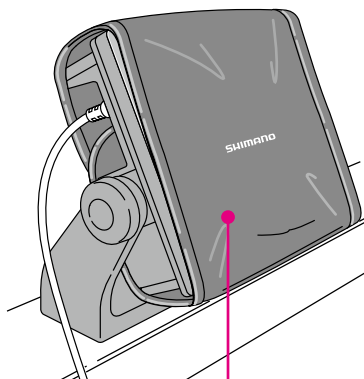
- 使用中に画面表示が消え電源OFFの状態になった場合は、電源ON/OFF ボタンを押してください。
この現象は、電源ケーブルのワニ口クリップに力が加わったり、船電源の極端な電圧変動により、瞬間的に通電が遮断されたことが考えられます。

●ご注意

船長の指示棚は絶対を守りましょう!!
画面上に指示棚以外にも反応が映っているからといって、勝手に大きく棚を変えるのはルール違反です。
船長の指示棚は、長年の経験から導きだした、その場の状況に応じた最適な情報です。
自分勝手に大きく棚を変えると、他の釣客とのオマツリや魚を散らすなど、トラブルの原因となります。絶対にやめましょう!!

3 探見丸CV-FISH を安全にお使いいただくために

- 探見丸CV-FISHの防水規格はJISC 0920 5級 防噴流形 (IEC:IPX 5)「いかなる方向からの直接噴流によっても有害な影響を受けない」ですが、水中への浸漬に対する保護機能はありませんのでご注意ください。
探見丸CV-FISHの電源ケーブルに海水が入らないよう、船縁設置中は電源ケーブルを抜いたままにしないでください。又、船縁に設置後の釣り場移動時/釣行の移動時には、付属のカバーをかぶせてください。過度の波浪/突起物等から本機を守ります。(右図)



過度の波浪/突起物などから探見丸CV-FISHを守るため、付属のカバーをかぶせてください。

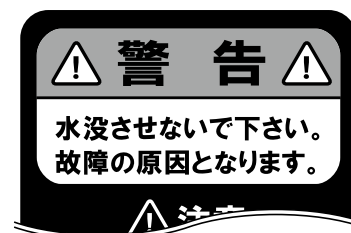
安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

警告	
	●カバーケースは絶対開けないこと。 感電の原因になります。 故障の場合は、お買い上げ先へ連絡してください。
	●分解・改造等は絶対しないこと。 火災、感電、ケガの原因になります。
	●発煙、発火のときはただちに電源ケーブルを外すこと。 火災、感電の原因になります。
	●電源ケーブルは規定のものを使うこと。 規定外のものを使った場合、重大な事故や火災を引き起こす原因になります。
	●液晶部のレンズ内側に水滴の付着や曇りが見られた場合は、使用をやめて修理に出してください。 防水機構が壊れています。

警告ラベル

探見丸CV-FISHには右図のような警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルは絶対にはがさないでください。



— 液晶パネルについて —

液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上が有効画素ですが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が存在します。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意／セーフティ機能／仕様

4 ご注意

- 注意 1**：親機の設定及び使用状況によりボトムラインが海底をトレースできない場合がありますが、本機の故障では御座いません。魚群探知機特有の現象です。
- 注意 2**：電池の種類によっては多少使用可能時間が前後します。

5 セーフティ機能

次の場合、補助説明ウィンドウに図のように表示されます。

●親機からの信号がない場合

→お乗りになられている船名の選択をされたかどうか、もう一度ご確認頂き、通信のできる位置に子機を移動、向きを変えるなどしてください。

親機からの信号がきていません。

●電圧が高すぎる場合

30 V 以上になりますとセーフティ機能が働き、強制的に電源をOFFにします。
→12 V から 14.8 V の範囲のバッテリーの使用を推奨します。

●リールのブレーカーが作動している場合 (電動丸接続時のみ)

リールのモーターに過負荷がかかり、ブレーカーが働いている場合に表示されます。

ブレーカー作動中です。

→ご愛用の電動丸取扱説明書をご確認ください。

6 仕様

品番	探見丸CV-FISH		
自重	約405g (本体のみ)		
表示画面	4.0型カラーTFT		
通信方式	Zigbee (IEEE802.15.4規格)		
受信周波数	2.4GHz	送信出力	5mW
通信速度	250Kbps	消費電力	3W
電源タイプ	電源コード使用時 (オプション)	DC12V~14.8V/0.3A	
	乾電池	単3型×8本 ※ニッケル水素の 充電池にも対応 しています。	
	乾電池使用時の 電池寿命 (20℃時で昼間)	マンガン：約6時間 アルカリ：約10時間	
使用条件	使用温度範囲	-10℃~50℃	
	使用湿度範囲	93%以下 (+40℃)	
	防水性能	IPX5	
標準付属品	ハンガー×1、ハンガーノブ×2、蝶ネジ×1、ソフトカバー×1、コネクタ用キャップ×1、保証書、取扱説明書		

製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内／分解図

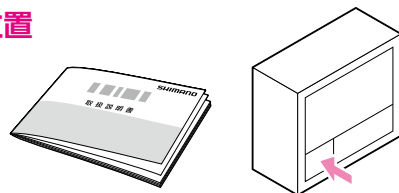
7 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

探見丸のメカニズムの説明には、書面で表しにくいことがあります。手紙での問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

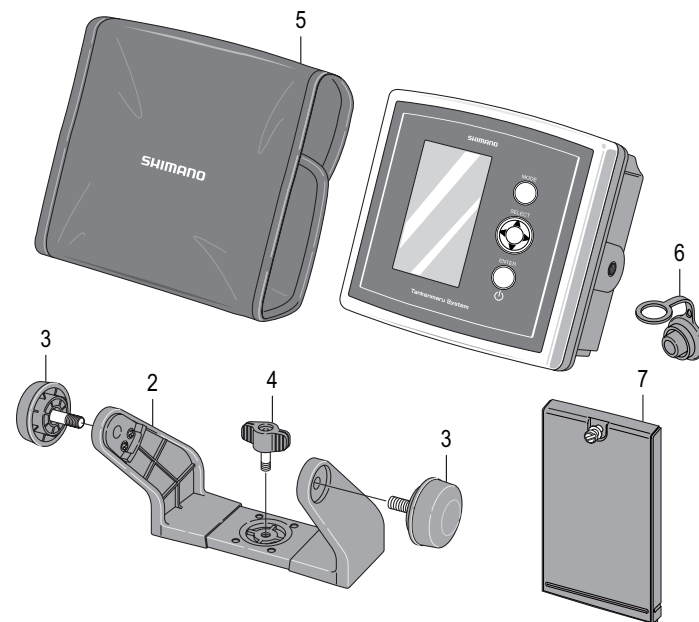
- 修理に出される時は保証書と製品をお持ちになり、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／電源が入らない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- 紛失部品や破損部品のお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですので本体ごと修理に出して下さい。
（例／製品名：探見丸CV-FISH 商品コード：04168 製品コード：5RK240000 部品番号：2 部品名：スタンド）
- 弊社では探見丸の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。

●商品コード／製品コードの位置

- ・取扱説明書
- ・パッケージ側面部



■分解図



■パーツリスト

番号	部品名	番号	部品名
2	スタンド	5	コネクター用キャップ
3	スタンドヒンジネジ	7	電池フタ組
4	スタンドネジ		
5	ソフトカバー	TRST	取扱説明書 (付属品)

(191108)_001



部品内容について予告なく変更する場合があります。
最新版はシマノホームページでご確認ください。
←リンク先はこちらから
https://www.shimanofishingservice.jp/parts_price.php?scode=04168

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 埼玉営業所

〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL.(048)772-6662

株式会社シマノ 東京営業所

〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ 名古屋営業所

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所

〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地 TEL.(072)223-3920

株式会社シマノ 中四国営業所

〒700-0941 岡山県岡山市南区青江6-6-18 TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ 九州営業所

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町4-6 TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部 本社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●探見丸システム、商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ

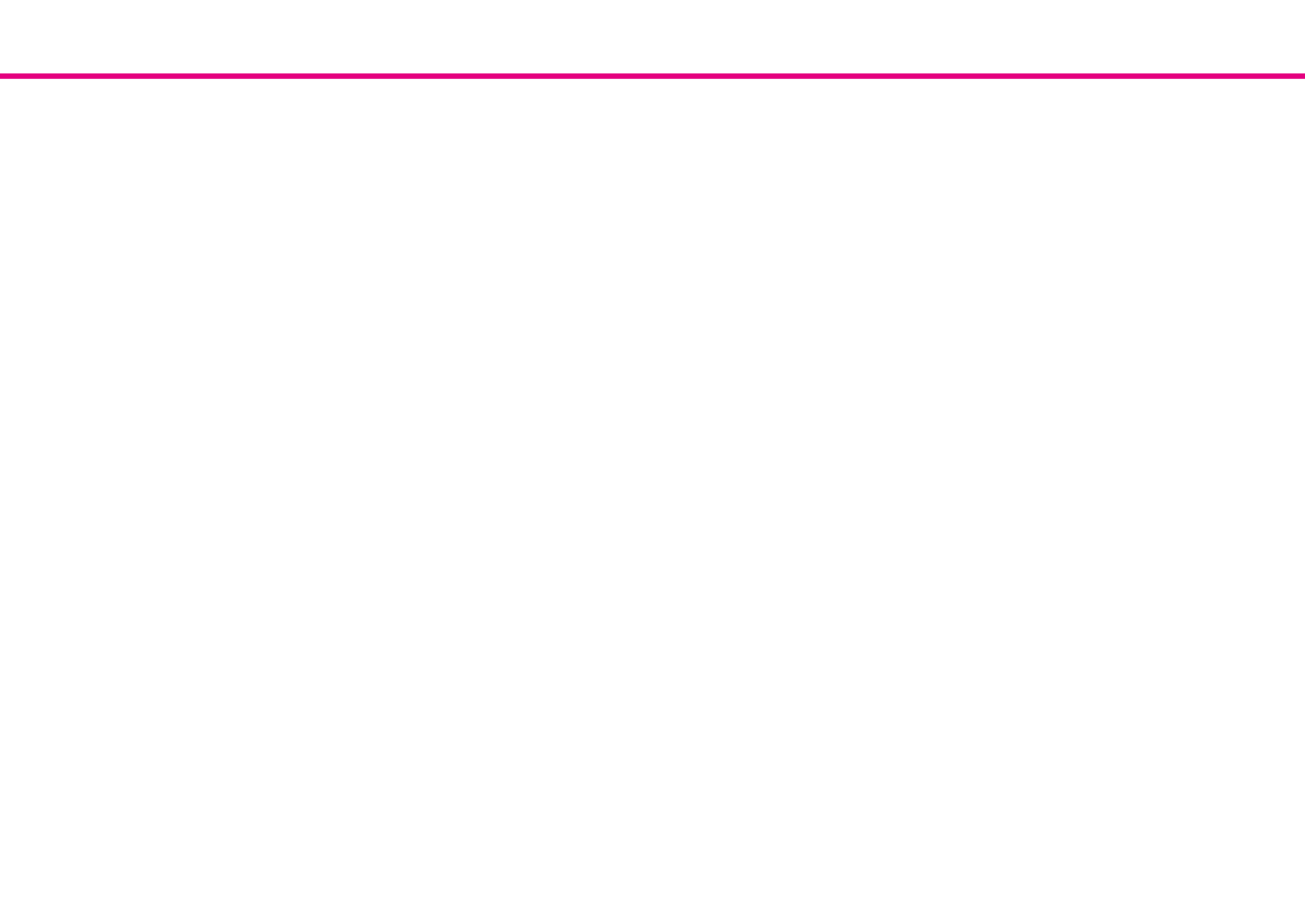
フリーダイヤル ☎ **0120-861130** (ハローイイサオ) をご利用ください。

受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00 (土・日・祝日除く)

■シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.com> です。

新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。

また、カタログのお申し込みも受け付けています。



SHIMANO